

# これをあなたは誰と言うのか？

フェニックス、アリゾナ州、アメリカ合衆国

1964年12月27日

1 おはよう、友のみなさん。私は確かにこの教会にいるこれは特権だとみなしています。そもそもその名前が好きなんです。それは「イエスの名」と呼ばれていますそれはいいですよ。そしてそれは…思うにそれが私が贖われた御名です。主イエスの素晴らしい御名なのです。そして、私の良い友達と一緒にいるために、ここフェニックスで、この素晴らしい日曜日の朝に集まりました。私は自分がどこにいるのかわかりません。皆さんと一緒に栄光に入ることはないかもしれませんが、そして、それは私たちが何時の日かに来るのを楽しみにしている素晴らしいイベントです。

そして、今日ここに来るために病気であるという電話を受けました。そして、私は私の大切な友人であるアウトロー兄弟と話していました、そして彼はとても親切に来るようにと招待してくださいました。そして、ここフェニックスのすべてのミニスター達は私にとって本当に良い人達です。

2 時々どうしてツーソンに引っ越したのかしらと思います。私はそこに3年間住んでいますが、どんな説教壇にも招待されたことはありません。ですから、私はここツーソンで訪問するか、ここフェニックス、歓迎されているように感じる場所を訪問しなければならないと思います。まあ、多分いつか、彼らは私に慣れるでしょう…私は先日の夜、そこで説教をしました、そして私は3時間説教しました。彼らが私に戻るように尋ねなかったのも不思議ではありません。

しかし、私は神と彼の民に対して私の心の中にこのような気持ちを持っているのです。そして、私はとてもゆっくりなのです、そして、私は何かを除外するつもりで、足りないのではないかと感じてしまいます、そして私はおよそ3つか4つのメッセージを1つに入れているのです。だから私は確かに…そこにいた人々、あなた方をそんなに長く居続けさせたことをお詫びします。私はそうをすべきではなかったのです。

3 そして今朝もカール・ウィリアムス兄弟とここにいる若いジミーとクワイヤ、そして私の友人のモズレー兄弟と一緒にここにいられてうれしいです。ブラッド、ジョン・シャリット兄弟、そして私の友人の多くが見えます。パット・タイラー兄弟、ここにおられます、ケンタッキーの遠くから、そして今朝この集會に集まるためだけに来て下さったたくさんの友人たち。ほら、ツーソンから来たたくさんの友達がここに居るのを見ました。

このすべてが終わったある日の事を考えています。私たちはどこに集まるのでしょうか。この美しい音楽を聴くために泊まる必要もなくなるのです。私はたまたまウィリアムス兄弟の息子がそこに戻って来て、ラマダインに向かった証言をしたことにちょうど気がついたばかりです。彼の身長は約6フィートくらいだったと思います。しかし、言っておきましょうかね、その証の後、私は彼が10フィートの高さだったと信じています。彼はただ…少年が言ったことを本当に感謝していますそれはとても素晴らしいテスティモニーでした。

4 これらの立派な若い仲間たちが、キリストを中心とした信仰を証しするのを聞くと…そして私は年をとりかけています、そして私は…ある日私はやめて家に帰らなければならないのです。そして、これらの若い仲間たちが準備ができているところにやって来て、私が去る場所からを広い続けていくのを見てください…それが私たちのやり方です。それが人生のレイアウトなのです。私たち…ある世代が上がっていくのです…そして、父と母。そして彼らは彼らの子供たちを育て、彼らが結婚するのを見ます。孫も一緒にやって来るのを。そしてしばらくするとお父さんとお母さんはほこりのところへ戻るのです。そして、その時まで、子供たちそして孫のために再び準備ができています。そして、彼らは降りて行く。しかし、これらの日々うちに、全般的な復活が起こるでしょう。私たちは皆、神のご臨在の中に召され、神が私たちに与えられたことに対して私たちが行ったことを説明します。イエス・キリストです。そして、私は、私がこの世代に、世界中の素晴らしい人々と出会ったことをとてもうれしく思っています。私は神に感謝しています。そしていつの日か、私の召喚状が来たとき、私は自分がしたことに見合うようにしなければなりません。私はそれらが神の栄光と名誉のためのすべてであって欲しいのです。

5 新年に近づいていると、忘れてしまいたいことがたくさんありますが、私は彼らが彼に間違っていると告白しても、主はそれらを忘却の海に置いたことを知っています。もう覚えておられないのです。さて、私たちはそのように作られていませんね。私たちはいつも覚えています。私たちはお互いを許すことができますが、私たちは違うように作られているので、それを忘れることができません。しかし、神はそれを許し、忘れることができます。彼はそれが全く何もなかったかのようにそれを一掃することができます。分かりますか？何故なら主はその忘却の海へのアクセスを持っておられるのですが、私たちにはありません。考えてみてください。神は私たちが罪を犯したことさえ覚えておられないのです。そのことを考えてみてください。クワイア、あなたたち若い人たち、もしそれはどうなのでしょう？神は私たちが罪を犯したことさえ覚えておられません。つま

り、彼はすべてを忘れることができ、もはや記憶に入れられることは決してないでしょう。それはすごい事ではありませんか？

6 これは冗談を言う場所ではありません。私はその冗談や何かに対して冗談を言う事を信じていません...それは私の友人を思い出させます。彼は今栄光に行っています(亡くなっている)。しかし、彼はかつて小さな物語を語りました。ある田舎から都市に引っ越してきたカップルについて...そして彼らは...この若い夫婦には年老いた父親がいて、彼は本当に神のために燃えていました。それで、若い女性(それは彼女の父親でした)...それで、彼女は何人かの古典的な人の中にはいついていついてしまっていました。どこにこのような古典的な娯楽があるのかご存知ですね。それで、彼女はその日彼女の家である種の娯楽をするつもりでした。

そして、彼女のお父さんは、彼が昼食を食べた後、なぜ彼は聖書を手に入れて部屋を出て、彼はしばらく読書をしました。そして彼はそれを置いて、彼は泣き、叫び、大声を出し続け、立ち上がって眼鏡をかけ、そしてもう一度読みました。それから何かを見つけて、彼の眼鏡を置いて、泣き叫び始めました。彼女は言いました、「それは私のパーティーを妨害するので、私は...お父さんと何かしなければならぬのですが、どうしたらいいのかわかりません。」そこで彼女は、彼を二階に行かせて、その場所に起き上がらせることにしました。

7 そして彼女は、「えっと今は、彼に聖書を与えることはできません。なぜなら彼がそこで同じことをするところになるから。」と考えていました。それで、彼女は彼に古い地図を与えて、彼をそこに送りました。「お父さん、パーティーの最中、世界中の写真や物事を見てください。」と言ったのです。そして、「長くなり過ぎないようにするから。と私たちはすぐに終わるようにします...あなたはしばらくして降りて来られるのです。」「私はあなたがそれらすべての女性がいるところを動き回りたくないことを知っています。」と言いました。

彼は「いいえ、大丈夫です、ハニー。」と言いました。私がそこに行きます。」

だから彼は...彼女は彼に光と小さな場所を作りました。そして彼女は考えました、「まあ、それはそれで納得だわさて、彼はその写真を見て地図を少し読み、それから...そしてしばらくすると彼は降りて来るでしょう。とそして、それで大丈夫でしょう。」と

8 ちょうど、ピンクのレモネードを飲んでいて、パーティーをしている最中だったと思います。しばらくすると、家が揺れ始め、その老人がその階を上り下りし、叫びながらジャンプし始めました。そして彼女は思いました、「彼に何が起こったのだろうか？彼はそこに聖書を持ってはいませんでした。それ...彼は聖書を持っているに違いない。」

それで彼女は階段を駆け上がり、「パパ!」と言いました。「それはあなたが読んでいる聖書ではありません。」と言いましたそれは地理の本です。」

彼は言いました、「わかっているよ、ハニー。分かっている!しかし、「先日私が聖書を読んでいた時、イエスは私たちの罪を忘却の海に置いて、それを覚えていません。それをそのあと全く覚えていないのです。」と言いました。そして私は、彼らが海の底を地理的にさえ見つけることができないと彼らが言うところまでここで読んでいました。」「考えてみれば、彼らはまだ続いているのです。」と言ったのです。

それが彼を幸せにしていました。ですから、どこを見ても神を見つけることができます。ほら、周りを見回すだけなら、すべてが彼のために話します。

9 さて、本当に正直に言うと、私はアウトロー兄弟に話しました。「今朝は何について話しましょうか？クリスマスのメッセージを話しましたか？」

「はい」と言いました。

「あなたの新年のメッセージは？」と私は言いました。

「いいえ」

ですから、ここでいくつかの概要がありました。どこかで招待状を受け取ったら、新年のメッセージを話します。来週の事は、アウトロー兄弟に任せようと思いました。

ですから、主の御心ならば、ここでの短いテキストに戻ったならば、私たちをここに数分間立っていないければならないかとも思いました。そして、神が私たちを祝福してくださることを信じています。アウトロー兄弟と

ここの教会が私をここで話すために招待して下さったことを感謝したいのです。そして私は…アウトロー兄弟が言われたように、「私たちの友情は決して破られませんでした。」しかし、神の恵みがこれらの年月を通して私たちを保たれているのです。これは私を招待した最初の教会で、フェニックスに来た時の事でした。

10 知っています…私はここでトロール兄弟を見ていると思います。わからない…前に座っていると。そうですね、トロール兄弟？私は彼が当時一緒にいたと思います。私は彼がその間私に下さったいくつかの小さなものを持っています。少し…彼らはそれか何かを練ったりしたりなにか。ご存知のように、あなた方が住んでいるここからの小さな銅の物。そして周りを見回すと…そして私はちょうど私たちがクロスオーバーするとき、その朝はどうなるのだろうと考えていますね、そして人々に会うようになる…彼らは「まあ、そこにで…」と言います私たちが今していることとは大きく異なりますね。私たちは…その通りです。私たちは罪や老いのしるしにはなりません。私たちは完璧になります。ああ、私はあの時を待ち望んでいます。あなたはどうですか？すべての問題が終る場所。

11 そして今、私はわたしが感じる神からのメッセージを持っています。そして私は…私は違いたくありませんが、正直でなければなりません。そして、私が信念を話さなければ、あなたは私に自信を持つことができません。なぜなら、私が裏切り者や偽善者ようになってしまうからです。そして、私はそういったもの以外になりたいのです、分かりますよね。私は地球上で数人の友人を失うかもしれませんが、私の信念に忠実であり続けたいと思っています。

12 さて、何年も前、私が最初に始めたときはとても簡単でした。しるしとメッセージと説教。何処からも「来てください！」と言うご招待がありました。来て！来て！来て！しかし、その後、分かりますよね、神からの純粋なる印のあるメッセージと声がありました。ほら、それに続く。そうでなければ…神はそれを与える楽しみのためだけにそのようなものを与えられる方ではありません。主は言うど決められている事を注意を引くために送られるのです。私たちがこの素晴らしいクワイアが歌ったように、それは何をしたのでしたか？来るべきメッセージのために人々を静めるために。

それがしるしがすることなのです。モーセには先日の夜に話したようなしるしがあり、そのしるしには声がありました。そして…声が話すとき…イエス様も病人を癒されるために出かけられました。彼は偉大な人でした。しかし、その預言者が地球上にいる時が来ると…彼らが400年の間一人も持っていなかったのです、そしてここで彼は地上にいて、しるしをされていたのでした。それから彼は「素敵な人」でした、誰もが彼を望んでいました。しかし、そのしるしに続くメッセージ(声)が、ある日彼が下って「私と父は一つである」と言った時。ああ、何と言う事！それは何か違うものでした。彼らはそれを望んでいませんでした。分かりますか？

そして、それは……世とはそのようなものなのです、友よ。分かりますか？彼らは…彼ら自身を助けることができるならば、何でも彼らは得られるのです、分かりますね…彼らが邪魔されない限り、どうしても彼らはそれをするでしょう。しかし、彼らが物事について自分の考えを変えなければならない時が来たとき、それは問題になる時なのです。

13 さて、私たちは壁ではなく建物を建てています。建物を建てる人は一列のブロックを取り、まっすぐ下に行きたがっています。さて、どんな建築者もそれを建てる事ができます。しかし、角を曲がるには本物の熟練工が必要なのです。分かりますか？あなたが隅を切り取らなければならないとき、それは時間がかかります…それはあなたが本当の石工であるかどうかを示します。角を曲げることができ、建物の残りの部分の連続性を維持しながら、角を曲げることができる時にです。さて、問題が起こるときはこれらの角に居る時なのです。建築者は下において構築を続けたいと考えています。しかし、私たちは壁を築いていません。しかし、建物を建てているのです。

今、私たちがこれに近づくために、今朝、あなたは私のために祈って下さい、そして私は…いつもあなたのために祈っています。さて、神である大いなるエホバのご臨在の中で一瞬頭を下げましょう。そして私達は私達の不十分さが分かります。私たち全員がそうなのです。そして、我々は一人でここに居るのではないのです、必要を抱えているから。そして、私達が祈っている間に、特別な必要を抱えている人がいるかと思っているのですが？

14 ご存知のように、先日、ここフェニックスでの集会で言ったように、無限の神は…テレビと同じように、キリストは来ています。キリストは今この建物の中におられます。分かりますね、あなたがするすべての動き、あなたが瞬きをするたびに、それは決して死ぬことはありません。それは空気中のエーテル波の中におられるのです。テレビはそれを製造していません。それはちょうどあなたの波を拾い上げて、それをスクリーン上に生成するのです。とにかくそこにあるのです。いつもそうでした。あなたが今までにしたすべての動きは、空

中でまだ生きています。さて、あなたは我々が裁きの時に何になるか知っていますか？

ですから、神は同じようにここにいらっやいます。テレビで写真の本物を見ないのと同じように、私たちは彼を見てはいません。それは、声を拾い上げ、絵などを再生するために何かの特定の管または結晶を使うのです。アダムが地上にいたとき、それはここにありました、しかし、我々はその場所が分かったのです。神は今朝ここにいられます。そして、ある日、至福千年で、認識するようになるでしょう彼が今朝の会議でここにいたのは、テレビや物よりももっと現実的なものとなるのです。

さて、私たちが…その考えに基づいて、あなたが必要としているものを心に留め、ただ彼に向かって手を挙げてください。あなたはそうしますか？「主よ、…」と言ってください。そしてあなたの心の中で、その考えを考えてください。

15 さて、天のお父様、私たちにはあなたに近づく唯一の方法はこれだけなのです。それは祈るという方法によるものなのです。そして、私たちは主イエスの御名で来ています。私たちは、その名を息にして、それを使うにはふさわしくありません。私たちは…ではありません。私たちが自分にふさわしいと思っているわけではありませんが、そうするように招待されているからです。そしてこれを知りながら、主は言われました「わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。」そして、私たちは…私たちの信仰が彼の言葉にあり、彼が誰であるかという、その後ろに立つことのみならば、私たちは私たちが求めるものを得られる事は間違いありません。あなたはすべての要求を見ました。あなたは私の手を見ました。あなたは私のリクエストを知っています。

そして父よ、私は彼ら一人一人のために祈ります。彼らが必要とするものすべて…主よ、私はこのようなグループが何か悪いことを尋ねる事は信じていません。それは彼らの王国の前進のための何かのためのものでしょう、それは彼ら自身の癒しのためかもしれません。そしてその際に、彼らは…あるいは彼ら自身の理解を望んでいるのでしょうか。彼らは神の御国が広がるためにそれらの事を望んでいます。

16 そして、神様、私は一人一人の要求が与えられることを求めて祈ります。この教会、その牧師、その仲間、そして執事、トラスティーたち、そのメンバー、訪問者、知らない人たち全てを祝福してください。主よ、彼らは知らない人たちではありません。私たちはみな恵みとキリストによってあなたの子供達なのです。そして、今朝、あなたが私たちに命のパンを与えてくださることを祈ります。ここからこれらのリクエストの理解とともに私達が尋ねたことが受け入れられ、ここから行くことがあるかもしれません。

主よ、それを読むのでその御言葉を祝福してください。そのみことばを解き明かすことが出来る者や十分な人はいません。ヨハネは御座で主の手にある本を見ました。そして、その本を見ることにふさわしい人は天にも地上にも地の下にもいませんでした。しかし長老の一人は言いました、「泣くな。見よ、ユダ族のしし、ダビデの若枝であるかたが、勝利を得た」。ヨハネは、その獅子を見て、殺された子羊を見て、血まみれの子羊が出て来て、本を取り、王座に登って座られたのです。そして天のすべての有名人は彼らの頭から彼らの冠を取り、お辞儀をしました、彼がふさわしい方であることを知っていました。

主よ、私たちは主が今朝私たちの心の御座に来られることを求めて祈ります。私たちが持っているすべての考えに登り、それを手に入れ、みことばを取り、私たちの人生の中で主と主の計画についてもっと知ることが出来るようにお話してください。これをイエスの御名によって尋ねます。アーメン。

17 さて、あなたが聖書を開きたいならば…その聖句は聖マタイ21章にあり、…マタイ21章の10節と11節を読もうと思います。良くなるために、家に帰るとき、この休暇をまだ終えていないなら、この章を最後まで読んでくれればいいのですね。とても良いですそれはすべて良いことです。これは特にこのシーズンに聖霊によって今朝皆さんにメッセージをもたらすことが出来るように望んでいます。

私たちが読む10節と11節に注目してください。

「彼がエルサレムにはいつて行かれたとき、町中がこぞって騒ぎ立ち、「これは、いったい、どなただろう」と言った。」

そして群衆は言った、「これはガリラヤのナザレの預言者イエスです。」

それでは…神はこの聖書の朗読の文脈を御言葉に加えられます。

18 今、私たちはそれがその時であることを知っています、そしてあなた方の多くはこの特定の章の聖書に精通しています。それは…キリストがエルサレムにこの小さなロバに乗って来られた日でした。そして私たち

は…「白いロバだった」という伝説があります。彼の再臨が突然に来る前に私が想像している事があります。その時、預言者は言いました、「彼は乗ってくる…シオンの娘に告げよ、見よ、あなたの王がおいでになる、柔和なおかたで、ろばに乗って、くびきを負うろばの子に乗って」。それが彼が来られた方法でした、そして小さなロバ、小さな力持ち。しかし、次に彼が栄光から来たとき(黙示録の19章)、彼は強大な征服者としてやって来られるのです。彼の身振りは血に浸り、白い馬に乗って、天国の主は皆、白い馬に乗っていました。そして伝説(聖書的でも歴史的でもなく)…しかし、伝説では、彼がエルサレムに来たとき、彼は小さな白いロバに乗っていたと信じられています。

19 さて…私はこれを選択しました。それは、私たちが影の中にいるからです。それは、クリスマスのユールシーズンの時期と新年の時期です。古い年の終わりと新しい年に入っていくところ。今から数日後、多くの人々が新しいページをめくり、新しいことをし、新しい誓いを立てるでしょう。そしてそれは新年の始まりです。そしてそれはクリスマスのように私にはよくわかりません。理由はわかりませんが、いつも「サンタクロースの日」と呼んでいます。分かりますか？あまり多くないので…

キリストの誕生日ではなかったでしょう。それは全く絶対にあり得なかったでしょう。彼は子羊だったので、彼は3月か4月に生まれなければなりません。そして彼は雄の羊であり、羊、牡羊の下で生まれました。それはそうでなければなりません。とにかく羊は12月には生まれません。羊は春に生まれます。そしてもう一つ、この時期、ユダヤの丘には、20フィートの雪が降っています。どのように羊飼いたちはそのような場所に居る事が出来たのでしょうか？

20 ですから、それは本当に、太陽神の誕生日であったローマ神話に由来しています。それが通過する太陽は、日が長くなり、夜が短くなります。そして12月20日から25日の間は、ローマ神話に基づく太陽神の誕生日です。そしてその時、彼らの神々…そして、その時、彼らは太陽神の誕生日を祝っていました。そして、コンスタンティンが教会と国家の憲法などを作成します。彼は言いました、「私たちはそれを変えます」(その日が何であったかは知らない)「そしてそれを太陽神の誕生日に乗せて、それを作りなさい:神の息子の誕生日にするのです。」分かりますか？どちらですか…しかし、我々はそれが何日だったかはわかりません。

しかし今、彼らのすべてがキリストの多くを取り除き、それがすべてとなるまで、聖ニコラスまたはクリス・クリングルの名前で生きていたと思われる生き物の神話を、ドイツの神話に戻した者もいます。そして、それはすべて単なる神話であり、キリストは全くその中にはおられません。

そして人々はウイスキーを買ったり、ギャンブルをしたり、ファッションを始めたりしています。そして、クリスマスの時期を通して彼の商品が売ることができる商人は、ほぼそれで一年中生きることができるのです。分かりますか？とても大きな休日、商業的なのです。そして、路上で貧しい子供たち。彼らの両親はサンタクロースからのようにプレゼントを持って彼らを訪ねることができず、彼らは通りを小さな汚れた手と小さな赤い目になりながら歩いているのです。私はただ、それがやって来るのを見るのが嫌いです。それは、心の痛みや頭痛の種ではなく、神への崇拜の厳粛な日であるべきです。キリストはそれについては何も関係ないのです。しかし、私たちは今、これらすべての真っ只中にいます。

21 私達は自身を見出したのです、彼らがその時期あったようなものでした。ほら、それは今、大きな祭りに入っているところです。イエスは過ぎ越しの祭りの宴に来られました。そして彼はエルサレムに入ったか…エルサレムに入っていました。そして彼がされたすべての預言は成就しなければならないのです。聖書に書かれているすべての事には意味があります。すべての名前には意味があります。聖書には何も書かれていませんが、深い意味があります。

私は先日の夜ツォンで、なぜ神学者の代わりに羊飼いでなければならないのかについて話しました。彼は教会のそばで生まれました。そして聖霊は荒野に出て行き、神学者ではなく羊飼いを迎えに行ったのです。それはそのようであればなりません。神学者たちはそのようなメッセージを信じなかったことでしょう。それで彼らは…それは羊飼いでなければならなかったのです。

私はここで数年前、2年前でしたか、説教しました、、なぜそれは小さなベツレヘムが成ったのか？御心ならば、次のクリスマス、私は「なぜ賢者でなければならなかったのか？」をお話したいのです。これらの理由:彼らは彼らに答えを得ました、そして彼らはここ聖書の中にあるのです。そして、私たちは素晴らしい時代に生きています。すべての時代の中で最高の時代です。私たちはいつまでも、いつまでも生きていきます。時は止まり、永遠はそれに溶け込み、続くことができます。すべての預言者と賢者の時代に、それを期待していたのです。私達はいつも我々の守り主とともにいて、主の来臨を見ているべきなのです。

22 私たちは、このクリスマスに、彼らが最初のクリスマスをしたのと同じように自分自身を見いだしています。世界が間もなく崩壊しようとしています。私が一度、どこかで、クリスマスのメッセージ「世界が崩壊する」について説教しました。そして世界は再び間もなくバラバラになろうとしているのです。ここカリフォルニアの地震を見てください。私は、主イエスが来る前に、神がその場所を沈めると予測します。私はハリウッドとロサンゼルス、そしてそこらの汚い場所、全能の神が彼らを沈めると信じています。彼らは海の底に行くことになるでしょう。そしてそこには沢山の罪があるのが分かりますね、それが障壁なのです。

文明は太陽とともに旅をしてきました。そしてそれは東から始まり、西へ行きました。そして今、それが西海岸にあります。それ以上進むと、再び東に戻ります。それが障壁です。そして罪は文明とともに旅をし、それはあらゆる時代の汚水溜めとなります。他の時代の人間がそのようなことを考えていなかったらう事を彼らがすること。どんな時代の女性も、今日のようにそのようなことを考えたことが無いようなほど、女性はそのような汚物に身を投じているのです。そして、それでも自分をクリスチャンと呼びます。なんという恥さらし！

23 偉大な預言者が立ち上がったのも不思議ではなく、彼は言いました、「私は預言者でも、預言者の息子でもありません。しかし…」こう言いました：

ししがほえる、だれが恐れなくていられよう。主なる神が語られる、だれが預言しないでいられよう」。(アモス記 3章8節参照)

分かりますか？呼びかけなければならないことがある。

世は、危機的な状況にあります。しかし、教会、本当の教会(宗派ではありません)。しかし、教会それ自体は、教会がこれまでに作った最大の勝利の準備ができています。花婿が花嫁を迎えに来られるからです。

私たちはバラバラになって、来て救ってくれる救世主(何か)を探しています。私達は見下ろします…東の問題をダウンさせます。私たちはアフリカで、蜂起、人種問題、統合、人種差別を見てきました。そして私たちは皆、ここしばらく前に(私たちの黒人の友人達)について、「私たちは持っている必要があります、私たちは統合しなければなりません。と叫んでいました。それが私たちに必要なものです。統合が必要です。すべての人、平等、すべての人。」まあ、それは完全に良くなるのです。それは完全に大丈夫です。私は奴隷制を信じていません。彼らはもともと奴隷ではありませんでした。彼らは奴隷ではありません。

24 神は人種差別主義者です。私もそうです。どんなクリスチャンも人種差別者なのです。神は彼の民を残りの人々から隔離します。彼らは…彼らは常に隔離されてきました。彼は国を選びました。彼は人々を選びます。彼は人種差別主義者です。彼がすべての国を作られた方です。しかし、それでも、本当の真のクリスチャンは人種差別主義者でなければならないのです。世界のことやすべてのものから自分自身を切り離し、一つの目的である、イエス・キリストに来る。

しかし、彼らはそれを叫びます。私は彼らに言いました。「それは私たちの国を救うものではありません。それは政治的な計画にすぎません。それは共産主義の背景のものです。」マーティン・ルーサー・キングは彼の人々をこれまでに経験したことのない最大の虐殺に導くと思います。そして彼らは…だからね、それは世界を引き寄せるつもりではないのです。それは私たちを救うつもりでもありません。私たちは彼らに統合を与えます。さて、それはかつてないほど悪化しています。だから、それは疑問にもなりません。できることは1つだけです。それは神様なのです。そして、彼らは確かにそれを望んでいません。

彼らはその時、主を望んでいませんでした。彼らはバラバラになり、彼らの政治はバラバラになり、彼らの国々は崩壊し、彼らの教会は崩壊し、そして彼らはメシアを求めて泣きました。彼らは主を望んでいました。「ああ、私たちにメシアを送ってください。」しかし、彼が来るとき…

25 神はあなたの祈りに答えを与えられました。もし尋ねていたならば、受け取るでしょう。そして、それが…私はここに何時間も留まることができました、男性と女性、クリスチャンでさえ、何かのために祈っていました。そして、神は答えを与えられます、そして彼らはそれさえも認めないのです。

そして今、神は彼らに答えを与えられました。彼らはメシアを求めています。彼らはカイザルを持っていることが分かっていた、そして彼らにはダビデが居ました、ソロモン(賢い人)もいました、彼らにはダビデ(強力な戦士)が居ました、彼らはあらゆる種類を持っていましたが、彼らは知っていました天国と彼らからの助けを得なければならぬ事をです。そして彼らは…神は彼らにメシアを約束されました。そして彼は彼らの祈りに答えて彼らをメシアに送ったが、彼らは彼を望んでいませんでした。

26 今日、私たちの祈りは…彼らが言うのを聞きます、「素晴らしいリバイバルのために祈ってください。このために祈ってください。先行きの噴出の為に祈って下さい。団結のために祈って下さい。」神がそのようなプログラムを送ってくださるなら、それを受け入れるかどうかと思っています。神が私たちに送ってくださったものを受け入れるかどうか、ただ考えているだけなのです。だから、彼が…私たちがこれらのことのために祈るのは、それが必要であることを知っているからです。しかし、神がそれを望んでおられる方法で送ってくださるのなら、それは私たちの好みによるものではないので、受け取らないのです。そして、それはその時代のやり方なのです。もし主が彼らの信仰と彼らの好きなやり方でなかったら…彼らは今日、彼を再び受け入れることはないでしょう。それが彼らがこの質問をした理由です「これは誰ですか？」という来ているこの人は誰ですか？」とほらね、それはかなりすごい時でした。ああ、みんな緊張していました。何かが起こるように決められていました。

27 そして、今日の世界を見てください。全世界が生きている緊張感。あなたは通りを下ります…運転しても安全ではありません。4車線の高速道路にいるのは安全ではありません。みんな緊張していてスナップして何が問題なんですか？静かにして下さい。どこに行くのですか？それが狂気の教育機関をいっぱいにしているのです。それが教会をそのような混乱の中に居させたのです。彼らは特定の事柄にとっても頭を悩ませています。彼らは止まらず、神の言葉と私たちが生きている時間を考えません。全ての緊張と緊張のもとで

28 そして今、私たちは知っています。私たちは分かっているのです。地球はちょうどいくつかの大きな産みの苦しみを経験しました。そして教会はいくつかの産みの苦しみを経験しています。それは与えられるようになる前に産みの苦しみを経験しなければなりません…預言者各人が、この世に来たとき、それは教会にとっての産みの苦しみだったのです。世界は第一次世界大戦、第二次世界大戦を経験し、今や第三次世界大戦の準備ができています。そして、それは再び産みの苦しみにあります。しかし、平和をもたらすことができるのは唯一の存在、それはキリストです。

私たちのすべての計画、私たちのアイデア、そして教会の構築、そして私たちのすべての政治、そして私たちの科学とすべてのものによっては、それがナンセンスだと証明されています。そして、神が私たちを助け、介入して「来て何かをして下さる」ように祈ります。そして、主がそうなさる時、私たちはそれを理解することができるだろうかと考えています。私たちがそれを受け取ることができるだろうかあるいは私たちはそれを考慮するだろうかとさえ？

29 さて、それが彼らの時代に行われたことです。彼らは祈っていました、彼らにはあらゆる種類の偉大な指導者がいました、彼らは政府の下にありました、彼らは王権の下にありました、彼らはあらゆるものの下にいました、裁判官さえもいました。しかし、彼らは彼らを救うことができるものは一つしかないことを知っていました。それは来るべきメシアでした。そしてそのメシアとは「油そそがれた者」を意味します。油そそがれた人間。それから、みことばによって油注がれた人間。御言葉が肉を取って我々の内に宿られたのです。そして彼が来られたとき、主は彼らが彼に望んでいたやり方ではありませんでした。主が来るべきと彼らが望んでいたやり方ではなかったのです。それゆえ彼らは叫びました「この人は一体誰なのですか？この騒ぎはいったい何なのですか？」そこにある農民の集まりが門のところにおいて、手のひらが引き離されていて…

そして彼は言いました、「彼らは黙しているようにさせない」彼らは私たちに緊張させ、彼らが悲鳴を上げ、叫び声を上げ、続けています。」

彼は言いました、「彼らが黙っているならば、これらの岩が叫びだします。」と

30 ああ、時間が開示されたのでした！預言は成就していました。当然のことです！「ししがほえる、だれが恐れないでいられよう。？そして神は語られました。誰が預言から守られないのですか？」

「いいえ、もし主が私たち自身の好みで無かったら…主が私たちが望んでいたやり方なければ、私たちが彼が来るべきだと私たちが考えた方法でなければ、私たちは彼を受け入れなかったのです。」その時、彼らとその書かれた言葉からそう離れさせたのは彼らの信条でした。彼らは御言葉から遠く離れていたのです、彼らが来るように祈っていた主を認めることができませんでした。彼らの教会は彼らが遠く離れていて、彼らが祈っていたまさにそのことが彼らと一緒にあったのですが、彼らの好みに合わなかったのです、彼らはそれを信じてことができず、彼らはそれから逃げなければなりません。彼らはそれを追放しました。彼らは…あなたがキリストに会ったときにできることは一つだけです。それは彼を受け入れるか拒否するかのどちらかなのです。中途半端にして離れることは決してできません。それは出来ないのです。それはあなたのためになりません。それが道なのです。

31 ただ気がついてください、その時代に彼を油注がれた言葉であると認めた人はほとんどいませんでした。初めから神はおられ、無限にあり、初めから全知全能の方でした。そして、これらのことだけが彼の属性を表すものなのです。属性…あなたは属性を持っています。それはあなたの考えです。あなたは何かを考え、それからあなたはそれを話し、そしてあなたはそれをとります。それが神です。彼は、初めに…もしあなたが…もしあなたがこれまでに天国にいたか、または天国にいるならば、あなたは天国から始まっていたのです。あなたは神の一部なのです。あなたは彼の考えの中にありました。彼はあなたの名前を知っていました。光がある前、粒子が出来る前から、彼はあなたが誰であるかを知っていました。何かが存在する前に、彼はあなたとあなたの名前を知っていました。そして、世が造られる前に、それを子羊の命の書にあなたの名を置かれていたのです。つまりは、あなたは彼の思いだったのです。そしてそれから…それからあなたは御言葉になりました。そして言葉は表現された思考です。それからあなたは現れます。

32 それが彼のやり方です。彼は初めのうちにたった一人で存在されていました。神は自分の考えとともに一人でその中に住んでいたのです。彼の考えが明らかにされているので、彼は二度とそうなることはないでしょう。そして、それが私たちがここにいる理由です。今日、神は彼の考えと交わり、顕現されるのです。分かりますか？そうになっているのです。だから、あなたは、考えを取ることによって、あなたの身の丈に1キュビツを加えることは不可能なのです。あなたはこれやそれやまたはその他の事さえも行うことはできません。哀れみを示されるのは神なのです。それは神です。「父がわたしに与えたすべてのものがわたしのところに来るであろう、わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。」それで落ち着くのです。

33 さて、大多数は彼がここにいることさえ知らなかった、地球上にいる何百万人もの人々は知らなかったのです、彼の時代のうちのどれだけ少数が彼がおられたことを知っていたかに気がついてください。考えてみてください。何百万人もの人々がそれについて何も知らなかったのです。考えてみると、当時のイスラエルでは、パレスチナに200万人のイスラエル人がいましたが、100万人も知らなかったのです。「命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。」と彼が言われたのも当然です。どれほど多くの人が彼を認識しなかったかを考えてみてください！彼がその人であることを知りませんでした。そして、彼らは彼がいた場所のすぐ近くにいたのに。それは哀れなことですね。

彼と一緒に歩き、路上で彼を見た人たちは、彼が誰であるかを認識していませんでした。サタンは、彼が人に与えることができる最も汚い名前が彼に与えられているのを見たからです。彼は世界(自然界)の人たちにこのように呼ばれていました…彼は私生児と呼ばれていました(彼は「ヨセフによって、母親が彼と結婚する前に、彼女は主によって母になった」と言ったからです)。それでサタンは主に不摘出等の名前を与えたのです。

34 そして再び、教会は彼の内に現れる彼の偉大な力を見たのです。何をあらわしているのですか？信条を表してはいないのです！彼はみことばを現していました！彼は油注がれたみことばでした。そして彼らがそれが起こっているのを見たとき(顕現、油そそがれたメシア)、彼らはそれを受け入れなかったのです。彼らはそれを望んでいませんでした。彼らの好みではありませんでした。それは哀れなことです。何人が…？考えてみてください。他の日のように。

ほら、それぞれが自分のやり方でみことばを解釈していました。それが…イスラエルがモーセを認めなかった理由です。それが世がノアを認めなかった理由です。それが、すべての預言者が認められなかった理由です。彼らはみことばを独自で解釈しているのです。しかし、神はあらゆる時代において、メシアをお持ちでした。分かりますか？ノアのメッセージを否定し拒否することは、神を拒否することでした。ノアを拒否することは、滅びを選ぶ事でした。モーセを拒絶すること、それは滅びる事になるのです。それは…彼らはその時代の油注がれたメシアであり、その時代に約束されたみことばでした。そしてイエス様が来られたとき、彼はみことばの成就だったのです。

神ご自身が人の体をとられ、骨と肉で造られました。油そそがれた方。そして、彼らはそれを理解すべきでした。しかし、ご覧のとおり、彼らの教会の世界はここに追加し、ここから取り除いたのです。彼らがみことばの代わりに教会を信頼することによって、めちやくちやになってしまいました。そして彼らが彼らの教会が油そそがれているのを見たとき、彼らは何か素晴らしいことが起こっていると思っていました。しかし、彼らはみことばが油そそがれているのを見たとき、「それは狂信的だ」と言ったのです。この男は悪魔、バルゼブブです。」とさえ言ったのです。なぜなら彼らの教会の信条と彼らがしたことまで、それは彼らの教会に非常に反していたからです。そして、それは預言者が来るたびにそのようになり、教会はとてもめちやくちやにされていました。

35 神は彼の律法を送って、彼らに契約を与えました。そして、祭司は入って来て、切り取って、ここに加えて、引き継ぎ、それから信条を作りました。そして神は、聖霊の力の中で育てられた油そそがれた男をどこからともなく立てられたのです。そして彼は常に祭司たちや王たちに憎まれました。そして、偽預言者たちは柔らかい服を着て、王や祭司の間をへりくだった態度、そして穏やかに歩き、大きな名前や物を受けるようになるためにしていたのでした。それから、本物の真の預言者はどこからともなくも来ましたが、彼らの組織のどれからでもなくです。

聖書のどこに神が祭司を取ってそれから預言者を造られたと言うのがありますか？神は教会の神学者(訓練を受けた人、神学の訓練を受けた人)をどこから取って、その人から預言者を作ったのでしょうか？歴史の何処においても、神は決してそのようにされたことはありません。彼はそのシステムから離れ、それをもたさなければならぬのです。そして、それは彼がここでなされたことです。

36 イエスは彼がユダヤのベツレヘムで貧しい家族から生まれたとき、彼らが知っているような経歴はなく、ユダの部族の一つから来たということだけで、そして彼の母と父はダビデの血統から来ました。そして彼らは来て課税されなければならなかったのです。そして、ここで彼はただの若い人で、教会を引き裂く以外何もされませんでした。そして彼らは彼を憎んでいたのです。又、彼らは何も言う事は出来なかったのですが、その人が奇跡をされたことについてです。ペテロは、ペンテコステの日に、「ナザレ人イエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるわざと奇跡としるしにより、神からつかわされた者であることを、あなたがたに示されたかたであった。」と言いました。そして、彼の言葉に何かを追加しないでください。それを少しわかりやすくするために、「彼は神が肉体を取って我々とともにおられた」神が我々とともにおられる。」

37 先日の夜、モーセが胸に手を置いてそこに立っていると、彼はモーセの内におられる神でした。彼は…(秘密を心に抱きながら)、そしてそれによってライ病でその手を白くしました。それからそれを彼の胸に引き戻し、それを癒し、そして彼に聖霊を下されたとき、それを再び私たちに伸ばしました。ペンテコステの日におられた神は別の形で来られたのでした。そしてそれを我々は受け入れないのです。私たちはそれを望んでいません。それが当時のやり方です。それが、たぶん今日の私たちのやり方なのです。

38 誰もが彼自身の解釈を持っているのが分かります。だから混乱するのです。しかし、あなたは知っています、「この言葉、自分勝手な解釈ではないのです、」と聖書は語っています。それには長老派の解釈を必要としません。バプテストの解釈は必要ありません。ペンテコステ派の解釈も必要ありません。神ご自身が解き明かされるのです。彼は彼がそれをするだろうと言ったので、彼はそれをするだけで、それで解決するのです。だから、彼らは約束の言葉に油が注がれるのをみながらも、それを受け取ることができません。彼らの信条に反しているからです。

39 メシア(油そそがれた者)はどのようになり、彼は何をなさるのでしょう。それは、彼らの理解には程遠かった。そしてそれが聖書から彼らに読まれた時、彼が何をしたか、それでも彼らは理解していませんでした。というのは、これらの賢者たちがバビロンに上ってから降りてきたとき、彼らはエルサレムから北東に少しいて、見下ろして、その星が西に進んでいるのを見ました。彼らはそれを2年間追跡し、チグリス川を渡り、谷とシナルを通して下り、すべての宗教の本部の町に来ました。世界で最も偉大な宗教、神殿はエルサレムにあります。そして、通りを行ったり来たりして、「彼はどこにいますか？」と言いました。ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにいますか？」とというのは、誰もそれについて何も知りませんでした。それはおかしなことでした。

40 それはサンヘドリンを攪拌しました...学者たちを呼び、「救い主が来られるところに関する聖句を読んでください」と言いました。

そして、彼らは行って、聖書を手に入れ、ミカが言ったことを読みました。ユダの地から…ユダの地、ベツレヘムよ、おまえはユダの君たちの中で、決して最も小さいものではない。?おまえの中からひとりの君が出て、わが民イスラエルの牧者となるであろう」

調査する代わりに、彼らはそれを捨てました、「まあ、それは狂信の集まりです。」と分かりますか？それが羊飼いがメッセージを受け取った理由です。ほら、彼らは…彼らは独自の解釈を持っているので、彼らは本当の真理を逃してしまいます。

41 しかし、いつものように、彼が来るとき、御言葉が彼が来ると言われたとおりに彼は来るのです。彼はまさに今朝の私たちのテキストで、みことばが彼が来ると言った方法で、その町にその通りに来られたのでし

た。そして彼らは言いました、「それは誰ですか？」と分かりますか？彼らはそれが誰であるかを知っているはずでした。そして、ここで…外の世界ではなく、世の教会は言いました、「それは誰ですか？これは誰ですか？」とその時、その場所に、聖書がはっきりと彼が来ると言われていたのとまったく同じ方法で来られたと告げています。そして彼らは言います、「それは誰ですか？」とこの人は誰ですか？この感情のすべては何なのでしょう？騒ぐことをやめなさい。緊張させられてしまうから」ええと。分かりますか？…分かりますか？彼らが祈ったまさにそれは彼らの手元にあります、そして彼らは主を認識しませんでした。そして、彼は聖書に彼が来ると言った通りの方法で来るのです。そしてもし彼が今日されるならば、彼は聖書が彼が来ると言っているように来られるでしょう。彼は神のことばを味わうことはありますが、神学者がそれについて考えていることを味わうことはありません。

42 ところで、神のことばは神学者に決して来られなかったのはご存知ですか？そうしているところがあれば聖句を見つけてください。みことばは神学者に来ることは全くなかった。しかし、あなたがたは、みことばが今日明らかにされたなら、今日のことばは、みことばの味わいになるでしょう。誰かの好みの考えではありません。神がこの時代に約束された御言葉を受け取り、それに油注ぎ、それが起こるでしょう。それだけです。それを起こさないようにする方法はありません。教会が何を言っていて、残り的人々が信じていても、それはとにかくそれを行われるのです。それ…神はとにかくそれを行います。これについて知っている人はごくわずかです。そうです、ごくわずかです。それはいつもそうだった。

43 彼ら自身の解釈では、彼らは他に何もできませんでした。なぜなら彼らは教会が彼らに言ったものに頼っていたからです。しかし、彼は来るでしょう…彼はいつも来られるのです…彼はその時それをしました、そして彼は彼が来る度にそして彼がするすべてのことをするでしょう、それは御言葉の好みにあることでしょう。したがって、他の人の発言に我々が自信を持つことはできません。信頼できることは一つだけなのです。それが御言葉なのです。そしてみことばは神です。そして油注がれたみことばがメシアをつくります。油そそがれた時代のみことば。なんて美しいのでしょうか。彼らはそれを逃した、みことば。その正しい…彼らは…みことばは常に正しいのですが、彼らの解釈は間違っていました。

44 この素晴らしいこと、今日の我々の時代にあるエキュメニカルな評議会、そして世界教会協議会が一緒になって私たち全員を一つにすることができるのでしょうか？彼等がそのことを認識しているのかと…それはまさに彼らがするだろうと聖書が言っていたことなのです。しかし、彼らは我々皆が手と手を取り合っただけのことが世界で最も素晴らしいことだと考えています。「イエスは私たちが一つになるように祈りました。」と言うのです。それは本当です。しかし、そのような種類のものではありません。

彼は言いました、「私と父は一つであるので、一つとなるように。」ええ、そのようなものになります。それではどうでしょうか？私たちの中のみことばは油そそがれたみことばです。それが神の唯一性というものです。神の唯一性は、あなたがたに注がれたみことばです。分かりますよね。分かりますか？そして、あなたはその時代の息子(メシア)になります。

45 今、私たちは人々がほとんど同じだと思います。人々は変わりません。これらの人々は3つのグループに分けられました。それを数分後から見てください。よろしければ、ちょっと遅くなるとおもいます。私はとても遅いです、私はただ…わかりませんが、聖句を書き留めて、ちょっとしたメモを書きます。そして私はそこに着き、聖霊がそれを握ります、そして私はただそれが終わりが無いように見えます。それはただ進み続けます。しかし、今、私たちのテキストに。

46 彼らはそこで3つの異なるグループに分かれ、3つの異なる意見を持っていました。彼らの何人かは彼を信じました。彼らの何人かは主を憎みました。そして、何人かは何をすべきかを分かりませんでした。

分かりますか？それがまさに私たちが手に入れた方法です。私は説教しました、私はこの教会だっと思えます：信者、信じさせられている者、そして不信者。人々はそれら3つのグループに入っているのです、それはどこにでもあるのです。これもその3つのグループなのです。人々のこの状態を見ることは通常の事なのです。私たちはずっと前に戻って、それが常に人々の状態であることを証明することができます。彼らはいつもそのような状態にありました。

そして、それが常にそうであったことを見て、神は人々がそのように設計されたと信じるようになります。なぜ、彼は彼の敵に彼を称賛させるようにするのでしょう。すべて…パウロが、ローマ人への手紙の第8章でこう書いています。「オ、愚かなものよ。造られたものが造った者に向かって、「なぜ、わたしをこのように造ったのか」と言うことがあろうか。陶器を造る者は、同じ土くれから、一つを尊い器に、他を卑しい器に造りあげる権能がないのであろうか。」もし彼が夜を造らなかったとしたら？陽光を感謝することはありません。何時も

常に晴れていたら、どうやってそれを感謝するかわからないでしょう。病気にならなかったら？あなたは健康を正しく感謝する方法を決して知ることさえないでしょう。もし邪悪な人々がいなかったら？邪悪な女性がいなかったら？良い女が尊敬されません。分かりますか？彼らは…名誉は彼女のものではありません。なぜなら、それがすべての方法だから、それはただ一つの単純なことです。しかし、それは対照の法則です。

47 神はこのようにされるのです。ひとりを非常に不名誉な者とされ、榮譽のある人を見せるのですそして一人をかなり悪い者として、良いものを見せるのですそうでなければ、それは正しいことです。もしそれがなかったら…本物のドルが出るまで、偽のドルはあり得ない。そして、偽物は…そもそもその偽物を作るには、本物がはじめにあるはずでしょう。しかし、それはコピーです。あり得ない…義が無ければ罪はあり得ません。義は正しいことであり、罪は義の倒錯されたものです。言い換えれば、真理は真理なのです。最初に真理が存在しないならば、嘘は嘘ではあり得ません。その真理を嘘に変えてしまうのです。ですから、すべての罪は義を倒錯させたものに他なりません。それゆえ、世界には体制があるのです。

48 2つのシステム。そのうちの1つは正しい体制であり、もう1つは倒錯した体制なのです。そのうちの1つは神の言葉で正しいもので、そしてすべて人の言葉は嘘になるのです。そして、私たちが今日得たこの宗派制は、世界教会協議会を結成して、彼らが一緒になって獣の刻印をつけることは間違った事なのです。そして、人は盲目的にそこに歩いています。

神が成し遂げられたのです彼らにそれを届けられるため地にそれを置かれたのです。しかし、彼らはそれが狂信者の集まりだと思っています。彼らはそれを望んでいません。彼らはそれを拒否します。彼らはそれについて何かをしなければならぬと思っています。彼らは独自のシステムを作る必要がありました。神はすでにここに体制を持っています、彼の御言葉。しかし、我々はそれを望んでいません。ですから、今日のように、当時と同じように自分自身を見つけることができます。

49 そして今、人々がそのように設計されているのを見ると…注目してください、あなたは言います…時間がかかるとはわかっていますが、緊張しているので、見続けたくありません。分かりますか？

政治；今、私たちは…例を挙げてみましょう。人々が3つのクラスに入るように設計されているかどうかを見てみるために。政治を見てみましょう。ある人にとっては辛いものがあります。そして別のグループは彼を嫌っています。そして、別のグループは彼について何をすべきか知りません。彼らはどちらを知っているのか、そしてそれは彼らを混乱の中に投げ込みます。

この人は言いました、「ああ、彼は素晴らしい人です。彼は私たちに最高の大統領をくれます。」

もう一人は「彼は反逆者にすぎない」と言いました。

それから、その中間の人は「今何をしたらいいのかわからない」と言いました。分かりますか？ご覧のとおり、私たちはそのように設計されています。私たちはそのように構成されています。それが人間のやり方です。それは神の偉大な経済を成就するためのそのような方法でなければなりません。そして、彼が地上で達成しようとしていることを達成するために、人はそのように設計されなければなりません。一つは正しいです。もう一方は間違っています。そして、もう一方は2つの間にあります。常にそういう風でした。

50 気づいてください、彼らはそれを彼らが知らない度にやります…その中間の男、それは悪い場所です。なぜなら、問題を示すことができ、なぜ彼が正しいと思うのか。もう1つは、彼が自分が間違っているとどう思っているかを示すことができます。その中間の人はその件について何も分かっていません。彼はどちらの方向に行くのかわからないのです。そして、それが宗教の方法そのものです。今日、人々は永遠の目的地について同じことをしています。

さて、私たちは傷つきます、ちょっと待ってください。彼らの永遠の目的地についてそのように扱うのです。ある人がここに、食べるために降りて来るでしょう。そして、スープの中に蜘蛛を見つけたら、その会社やレストランを訴えたいと思うでしょう。そうしたら、あなたはそのスープを食べないでしょう、それは毒になっているから。あなた大きなゴキブリや何かがスープの中に入っていたら、まったく食べたりはしません。間違いなく、あなたはそれを食べる事は無いでしょうそれについて考えるのはうんざりするでしょう。しかし、それでも、神学者の何人かが何かをあなたの喉から押し下げて、神から百万マイル離れさせても、それを飲み込むでしょう。「人は神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」時それこそがあなたの魂が地獄にぶら下がっている鎖です。そして前にも言ったように、「鎖の最も弱いところが最強になるのです。」そこから離れるための1つのリンク…それはあなたがしなければならぬ唯一の事はそれらの1つから離れることです。それだけです。それらの残りの部分はそれで自由になります。それはその最も弱いリンクと同じくらい強いだけの事なので

す。

51 さて…そして、毒クモが入ったスープを食べたとしたら、おそらく病気になることは分かっているでしょう。あなたは病院に行く必要があり、あなたの胃をポンプでくまなければならず、それは多くの困難を経験することになるのです。そしてそれは実際にあなたを殺す可能性があります。しかし、感謝することに！あなたは…実際、そのような場所に決して行くことにはならないでしょう。もう二度とドアを暗くしたくないのです。毒を得て死ぬのではないかと恐れているからです。そして、あなたは絶対に加わり、あなたの名前を本に書き、そして聖書が言った事のゆえにそれに敵対して戦うでしょう。聖書はこう言っています。「それはあなたの体をダメにしてはいないが、あなたの魂を地獄に送ることになる」と分かりますか？人々は奇妙な事をするのです。彼らは…彼らは永遠の目的地をそれを神学的用語に基づいて選んでいるのです。そして、あなたは彼らに聖句をもたらすことができると言いました、「これは聖書が言ったことです。と言いここにあります。」

そして神学者はそれを見て、「まあ、それは別の時代のためでした。」と言うのです。分かりますか？そして、あなたは彼に耳を傾けます。あなたは神が言われることが分かります。真の本物のクリスチャンは、そのみことばだけを聞きます。それだけなのです。神の人はそのパンによって生きています。

52 注目してください、みことばを信じる人も何人かはいます。他にも、宗派の解釈を信じている人がいる間にです。そして、この混乱によって、何を信じればいいのか分からない人がいます。

さて、彼らの何人かは言いました、「ああ、この世界教会評議会、それがそのものとなるだろう。それは私たち全員を一つにするでしょう。ああ、それだけです。」

そして他の人は言います、「どうして、それは悪魔のものなのです！」とここに聖書の中にあります。」

それから、落ち着いて祈りそれを探さすのに時間をかけない人は、「それを忘れなさい」と言いました。ええと。忘れる？それはあなたの…あなたの声明によって、兄弟、あなたの立場によって、あなたが取る言葉によって、あなたが永遠に続く永遠の目的地へとあなたを送るでしょう。そんなことはしないで下さい。

53 このようなことが起きたら、その時は立ち止まる必要があります。そして、イエスの時代のような質問です。彼らが来るとき、教会は言いました、「ああ、彼はただの反逆者です。」と彼には何もありません。」とさえ言ったのです。

しかし、ある人は「聖書を調べなさい」と言いました。彼は言いました、「あなたは彼らにあなたは永遠のいのちがあると思っています、そして彼らは私が誰であると言っていますか。」

それから、キリスト教の地位にある、または永遠の目的地に興味がある男性、女性は、聖書を調べて、主が誰であるかを見なければなりません。その時には、「これは誰ですか？」という質問はなかったでしょう。彼らは「彼はここにいる！」と言います。それが違います。分かりますね、それが人で、彼らはその方向に行くようになっているのです。ある人達はそれに定められています。それを言うのは難しいですが、それは本当なのです。それは示されています。分かりますか？

54 さて、今日、ある人は言いました、「わたしはみことばを信じます。みことばは真理です。そのすべての言葉。」

他の人は言います、「ああ、私たちの牧師たちはそのようなことを学びに行きます…彼らはそれについて何を言うべきか知っています。」

別の人は言いました、「さて、私は知りません。これに参加しました。気に入らなかった。私はここに行ってこれに参加しました。どちらに所属するのかわかりません。」分かりますか？それは当時のやり方で、同じような群集でした。ええ、それは最初からいつもそうでした、そして常にそうなります。

55 さて、この問題について聖書の真理を考え、それが正しいかどうか見てみましょう。今数分だけ…アダム…最初はこのように始まりました。今日のやり方は少しも変わっていません。アダムは「信者」でした。サタンは「不信者」でした。彼はみことばを信じませんでした。それで彼はエバを手に入れました。エバはそれが正しいかどうかわからなかったのです。分かりますか？不信心者サタン…神は言われました、「あなたがそこで食べるその日にあなたは死ぬ」と。

サタンは「それは正しくない」と言いました。分かりますね、そして彼はそれを信じていませんでした。アダムはそれを信じました。それでサタンはその中間にあるものに取り組みました。彼らはただ話すことができ

ませんでした…彼女はただ話すことができませんでした。

56 さて、この女性は花嫁と呼ばれる未来の宗派教会を表しています。それはすべて創世記に出てきます。それは種なのです。創世記から始めます。あなたはその絵がはっきり分かるようになるでしょう。分かりますか？さて、ここで、彼女はこの時代の教会を代表しました。何人かがこう言ったからです(今、私たちは長老派やルター派、そして彼ら全員がやって来て、これらのビジネスマンなど)我々はこれが欲しい…私たちは聖霊のバプテスマを求めています。それが欲しいのです。」

私たちがいることができるその日を認識していますか？分かりますか？彼らはそれを決して得ないかもしれない。イエスが「その眠っている乙女たちが、、彼らがその時…」と言われたのをご存知ですか？

覚えておいてください、眠っている処女は油を求めに来ます。それはすべて封印されていました。彼女はそれを手に入れられませんでした。彼女はそれを得たことはありませんでした。花嫁が天国に携挙された後も、教会はまだ続き、人々は彼らが救われていて、いつものようにすべてが救われていると思ってしまうことになることに気が付いていますか？ちょうどノアの時代と同じように続けて行くのです。彼らは食べたり飲んだり、そしていつものようにやっている事を続けていたのです。彼らはそれを知りませんでした、ドアは閉まっていた。そして、ドアはいつでも閉じることができたのかもしれない。多分すでにしまっているかもしれない、私が知る限りでは我々は知りません。

57 非常に少ない人数が入ることになることでしょう。私たちが知っているのは「ノアの時代(8人の魂が救われた)のように、人の子が来る時もそうなる。」ほんの少しの魂だけが救われています。私は8人とは言いません。800人かもしれないし…どれくらいかわかりません。8000人…わかりません。800万人…私は…

しかし、ご存じのように、花嫁は今、地上のこの小さなグループだけで構成されているわけではありません。7番目の時計が来たとき、主が来たとき、それらすべての処女は彼らのランプの芯を整えて立ち上がりました。ずっと前から、油そそがれたみことばを信じていたすべての人が時代を経て出てきます。ピラミッドのように(下の部分)しかし、その頭石はそれをピラミッドにするためにすべてを拾わなければなりません。分かりますね。それを一緒にしたのです。さて、花嫁は、キリストを彼らの救い主として信じて受け入れた、時代を超えたすべての人々で構成されます。

58 しかし、エバは確信が持てませんでした。アダムは彼女に言いました、「さて、神はハニー、「あなたがそれを食べる日、あなたはその日に死ぬ」と言われました。

しかし彼らは言いました…サタンは言いました、「確かにそれは正しいわけがない父親が彼の子供たちがどのように扱うかを想像してください。…ほんの少し楽しい、そのようなこと。確かにそうではありません。」分かりますか？

そして、彼女は最終的に何になったんですか？彼女は「確かに」そちらに向きました。そして、それがまさに今日の教会がしていることです。「ああ、きっと…私たちは素晴らしい教会です。私たちは素晴らしい人達です。長い間…彼らがここで狂信と呼んでいるものすべて、彼らが聖霊のバプテスマと呼んでいるものすべて、それはナンセンスです!ほら…そのようなものはありません。ああ、きっと…私は十分の一税を払います。私は教会に行きます。私の母は…に行きました確かに神…しかし、神は別の言葉を言われました、そしてそれはそれが彼の御言葉の好みの中でそうなるであろう方法です。彼はこのラオデキア教会時代がどうなるかと言われていました。私は特別な本を出して、すぐに、御心によってこのラオデキアを見て、それがすでに終わっていて、彼女がすでにそこに封印されていて、キリストが外にいることを示してくださいました。彼が二度と戻って来ると言ったことはありません、あなたは知っています。ですから、今日それを見つけてみことばを出します。いつもと同じ様に。

59 さて、モーゼ、油そそがれた御言葉…または私達は彼と呼ぶか…注目してください彼がメシアであると言ったら、あなたが理解してくれることを願っています。彼はその時代の約束された油注がれたみことばでした。モーゼがそうだったのです!それを信じますか?確かに、メシアという言葉は「油そそがれた者」を意味します。分かりますか?さて、ノアは彼の時代の油そそがれた者でした。アブラハムはそこで語ったのです彼の人々は400年間の呪縛の中に居ました、そして彼らは強力な手によって引き出されました、そして彼が示すもの:しるしと不思議…そして来たるべき世代において何をするか。その時代の油注がれた者としてモーゼはそこに立っていました。それが彼が胸に手を置くことができた理由です。どうしてでしょうか?彼は神のご臨在の御前に立っていました。アーメン!彼の周りに偉大なるシエキナの栄光がありました。彼が行ったすべての動きは神を表しています。教会は今そこに立っているべきです。そうなのです!その代わりに、私たち

はある宗派の何かのかんしゃくに乗り出しています。

60 しかし、モーセは興味を惹かれていましたそして、彼は脇に来ました。その火の柱がその茂みの中にぶら下がっていました。そして、ここに立ち、モーセは油を注がれました。その人は間違いなく彼が何をしていたかさえ知らなかったのです。彼が羊飼いの杖と一緒に立ったときに彼に与えられた象徴、そしてそれが荒野の杖であることを知っています。それは蛇に変わり、贖罪となりました。荒野でその蛇がそれをしたのです。彼がしたことすべて…それらは人々に話しかけるしるしと声でした。ほら、何か彼と繋がっていたのです。そしてモーセは、それを自分自身でさえ知らなかったかもしれませんが、彼はその日の油注がれたみことばだったのです。彼は油そそがれたメッセンジャーでした。ですから、もし彼がその時代の目線ジャーであったなら、彼はその時代のメシアでした。彼は油そそがれた者でした。

さて、彼とヨシユアとカレブはそのグループの信者であり(気が付いてください)、真理を他の人達に教えようとしていました。しかし、見てください、サタン(ダタンとコラ)は荒野で他の人を滅ぼす原因となりました。さて、何が問題でしたか？

61 神はモーセを召されました。彼は行きたくなかった。それらの預言者たちは、彼らができるまでそのようなものを持っていたのでした。それをするのは難しいことでした。彼らは外出して、軽蔑されることを望んではいませんでした。彼らは親睦を深め、他の人たちと一緒に、他の兄弟たちと一緒にいきたいと思っていました。しかし…分かるようにただ私は信じています…預言者が何であったか忘れてしまいました、「もし…私はこれをしたくありません。」(言い換えれば)「私の心全体が燃え上がるでしょう。神は語られました、そして私はそれを届けなければなりません。」彼らがそれを好きであろうが彼らが彼を十字架につけたかどうか。彼らが彼を石で打ったかどうか。彼らがしたことは何でも…神は彼の心の中で語られました、そして彼はそれを言わなければなりません。違いはありませんが従順になるべきです。「見よ、従うことは犠牲にまさり、聞くことは雄羊の脂肪にまさる。」ほら、それは彼の心の中にありました。彼はそれをしなければならぬのです。それは彼の命でした。彼はそれを握ることができませんでした。そこには彼らを前に押す何か、脈動があったのです。彼らはそれを祝福することも、それを呪うこともできませんでした。神が彼らの声、彼らの行動になるまで、彼らを完全に支配しておられました。ハレルヤ!

彼等のすべての行動そして動きが主がこう仰せになるになるまで、完全の神とともに油注がれるように私に教会を下さい、シャキナの栄光の中で、地上に立っている間、あなた方にメシア(神の油注がれた者)を見せて行きましょう。

62 この燃えるやぶとシェキナの栄光のそばにモーセが立っていました。そこに立って、油を注がれ、彼は自分が何をしているかほとんど知りませんでした。彼はただ声と言ったことに忠実でした、「胸に手を入れてみなさい。それを引き出さなさい。その杖を持ち上げなさい。それを蛇に変えてなさい。もう一度投げ捨てます。」他の人が何を言っても気にせず、彼はそれをしていました。

モーセは言いました。「主よ、あなたの栄光を見せてください。エジプトに行く準備ができています。言葉の人ではありません。わたしは口も重く、舌も重いのです」。うまく話せません。しかし 主は私にあなた(神)の栄光を見させてくれました。」そして主はそれを彼に示しました。そして彼は降りて、これら同じものを取り、油そそがれたメシアであることを示しました。その男は地球からほこりを拾ってそれを空中に投げました、そしてハエやノミはそのほこりから飛び出して地球を覆いました。神は何を創造することができますか？川から水を取り、土手に注いだ。そしてエジプト中の水滴はすべて血に変わりました。それに何が出来るでしょう、しかし神には??それは何でしたか？彼はメシアになるまで、神の油そそがれたみことばに完全に委ねられました。

エジプト人はこの方法でそれを断ろうとしました…不信者たちはそれを断ろうとしました。偽信者は彼らの計画を試みました。しかし、神のことばは彼らを約束の地に直進させました。そうなのです。彼らは油注がれていました。彼らは…彼はメシアでした。

63 さて、問題は荒野に出て来る事なのです。ここにそれをもたらす所なのです…さて、私の兄弟たちに見て欲しいのです。さて、これらの人々は祝福を味わいました。覚えておいてくださいね。彼らはこの預言者、この油そそがれた者の説教を楽しみました。彼らは彼を信じていました。彼らは彼について行きました。しかし、荒野で起きたのは、一つはダタンの名前で、もう一つはコラの名前ででした。そして、彼らは言いました、「これは一人の事でなければなりません。モーセは、彼が神が召された唯一の人だと思っているのです。」

その一人のメッセージ、彼らはそれを望んでいませんでした。いいえ、彼らはそれを望んでいませんでした。

た。そして神は決して一度に一人の人としか取引しませんでした。それは常に一人の人のメッセージなのです。いつ、彼は一人の人間以外で人々に対処したことがありましたか？それは一個人なのです。それはグループではありません。あなた方一人一人が神に対して責任があります。あなたは「ああ、私は信じています」と言います。あなたはただ…あなたがすること、あなたはただそれで楽しんでいるだけです。あなたはある考えで楽しんでいるだけ。

64 ここに立っている女性がいます私は若い男性で、結婚するのを待っています。彼女はあらゆる面で私の仕様を満たしています。彼女は素敵なクリスチャンです。彼女はその人であるように見え、それである身なりをし、そのように行動し、その人であろうと思われる生き方をしています。彼女が私を良い妻にしてくれることを認めます。しかし、私が彼女を私のものと見なすまで、彼女は私のものではありません。

それがメッセージのあり方です。あなたはそれに共感し、「それは正しい」と言うことができます。しかし自分自身でその一部になるために取らなければならないのです。そして、あなたとメッセージは一つになります。それから、油注ぎは他の人と同じようにあなたにもあります。

65 さて、サタン、彼はそれを信じませんでした。ダタン…彼はダタンと彼らにそれを信じさせないようにさせ、彼ら全員を死に至らせました。

しかし、あなたは言いました、「ブラナム兄弟、ちょっと待ってください。「三人：モーセ、ヨシュア、そしてカレブ」。」そのとおりです。それがそこにはありました。「しかし、ここで言うのは「2」だけなのです。あなたはここで「そこに…があった」と言います

あなたは「超自然的な悪魔」と言います。しかし、超自然的な神もこの三人に油を注いでいました。さて、サタンの油にのみそそがれているだけです。しかし、もう一人は来ています、もう一人は来ています、数分だけ見てください。彼は現場にやって来ました、彼の名前はバラムです。彼はお金を愛する預言者です。いわゆる預言者、偽預言者。

66 常にあらゆる種類の預言者がいます。そしていつもイスラエルと共にそしてそのグループと共に、常に預言者がいました。それらは：ソフトソープソーピング、ペダルを踏む預言者、それに沿って歩いて王の良い言葉を求め、そして手を差し伸べました。そして、まあ、アハブのように、彼らのすべてが教会のスタイルでドレスアップしていました。そして彼はあなたに言いました…彼はそこにいる偉大な王であるヨシャファトに言いました、「なぜ、確かに、私は400人、すべての訓練を受けたヘブライの預言者を得ました。」

そして彼らはみな来て預言します。しかし、その人はエリヤがそのことを呪ったことを知っていたのでそれが間違っている事を知るほど、その人は彼自身の中に十分な神を持っています。そして、神はどのように彼がのろわれたものを祝福することができるのでしょうか？彼はそれをする事ができませんでした。彼は言いました、「あなたは私たちが尋ねるかもしれない事を一つ以上分かりましたか？」

彼は言いました、「はい、あなたはここに持ってきました。イムラの子であるミカヤ。しかし、「私は彼が嫌いです。」と言いました。「彼はいつも私たちのところにいて、私を非難し、悪のすべて告げているのです。」と言いました。どうして…獅子(ライオン)は吠えました。神は語られました真理を語る事ができなかったのは誰ですか？それが神のこぼに反するとき、彼はそのことを呪わなければなりません。いつも彼らにはこのように偽預言者がいました。しかし、彼らも常に真理の一つを持っています。覚えておいてください、彼ら全員がいたわけではありませんでした。それらのひとりが居たのでした。そして、それはいつの時代でもその形なのです。それが今日のやり方です。

67 その時代の預言者はこのみことばです。そうなのです。今日、預言者はこれらすべてが異なるわけではありません…全国に、メソジスト預言者、バプテスト預言者、ペンテコステ派預言者、あらゆる種類の預言者がいます。しかし、いまでも残っているのです。真の預言者が1人います。彼は昨日も今日もいつまでも変わることが無いのです。その通りです。イエス・キリスト！そして、彼はみことばです。その通りです。彼はみことばです。油注がれたその時代のみことば。

68 私たちが旅行している今、彼に気付いてください。ヨシュアとカレブを見出しました…そして、ここに雇われ預言者のバラムが来ます。彼は何をしましたか？彼は神が彼にそれを示した後、神の言われた言葉全てを踏みつけたのでした。彼は今日、宗派を代表しています。それを数分で示します。ダタン、彼は何でしたか、そして彼らの残りは何だったのでしょうか。さて、バラムは宗派を代表していた。すべきではない人は、よりよく知るべきです。彼はそれが間違っていることを知っていました。しかし、彼はその後何をしましたか？神は彼に警告を与えました、そしてそれでも彼はその警告を踏みつけて避けて行ったのです。彼はお金と人気に夢

中だったので、彼は彼らに属することができたのでした。そして今日の教会も、その世界教会協議会に足を踏み入れています。そして、すべての警告が国中で爆発し、そしてこの終わりの日そのしるしと奇跡があります。その方向にとにかく行くのです。つまり彼らは神のこぼを愛するよりも人の賛美を愛するからです。

69 私には良い友達があります、それがそのメッセージを伝えています。ペンテコステ派で、人々を説き、教会を一つにまとめようとしているのです。「私たちはこれに入る必要があります。このエキュメニカル活動です。」と言うのです。どうして、彼らの中にはキリストの教会が。処女懐妊さえ信じないこれらの宗派の多く、そしてこれらすべての異なるもの、そしてそれらはすべてそれに属しています。彼らが同意しない限り、2人はどうやって一緒に歩くことができますか？その時、あなたは「アーメン」と言いました、私は今これについて不思議に思います。それで、男性はどのようにして彼がクリスチャンであり、聖霊に満たされていると言うことができ、その御言葉が昨日も今日もいつまでも変わることが無いを否定することが出来るのでしょうか？？あなたの内の聖霊はその言葉、すべての言葉に対して、「アーメン。アーメン。アーメン。」みことばが何かを言うとき、あなたは「それが真実だ」と言います。アーメン！あなたがみことばに同意しているからです。あなたは神に同意します。あなたと神は一つです。神はあなたの中にいます。あなたは彼の息子か娘であり、油そそがれたみことばがあなたの中に住んでいる彼のためのメシアになります。

70 注目してください、バラムはこれらのものの上を超えて行ったのです。彼は完全に宗派であり、彼らの好みに対する完全な答えでした。それがダタンが望んでいたことです。それがコラが欲しがっていたことだったので。彼らは組織を作りたいかったのです。「私達はここを通過して聖なる男性達を全て連れ出しました。」と言いました。

二人の男がいかに完璧に一緒に歩くかは気にしません。二人には違いがあります。私たちの鼻は似ていません。私たちの親指の指紋は似ていません。私たちには多くのことがある…しかし、私たちは双子でさえ輸血をすることができます、そしてそれでも彼らは異なっています。すると、神は一人の人間をそのブランコに乗せ、もう一人はそれを信じまるようになるのが分かるのです。

71 彼は一人の男を作り、その男から多くの男を作りました。すべての人がアダムにおいて死ぬとき、すべての人はキリストの内ですべての男で生きています。彼は一つの死の道を作りました、そして彼らは皆それに入って行きました。そして彼は生きるの道を作りました、そして多くがそこを歩むとそこには命があります。一人の男から、十数人の男が死ぬものではありません。12人の男が罪を犯す必要はありませんでした。一人の男が一つの罪を犯しました。一人の男が完全なペナルティを支払いました。もうひざまずいて、聖マリアの祈りを言ったり、他の種類のことを言ったり、死んだ人に敬意を払ったりする必要はありません。イエス様は神の賜物が自由になれるために死なれました。彼はその借りを全て支払って下さったのです。しかし、ご覧のとおり、私たちはそれについて別のことを言いたいのです。

72 これを今見てください。これらの人たちはそこへ歩いて行き言ったのです、「まあ、あなたは自分を集まりの中で唯一の男にしようとしています。あなたは自分が唯一だと考えている。」と

そしてモーセは彼と一緒に着ていた。彼は戻っていき言った、「父よ…」

彼は言いました、「彼らから離れなさい。私は…」

「すべて神の味方です、ここにきてください。」そして彼は地を開いて彼らを飲み込んだ。そうですか？考えてみてください、兄弟。ああ、何と！なぜ彼らは彼を信じなかったのですか？なぜ彼らは、このモーセが神の指導者であると信じなかったのですか？なぜ彼らはモーゼに文句を言いたがったのでしたか？彼らが神の手を見て、その下に動いたとき、いつもつぶやいて不平を言いました…そしてモーセ…神はモーセが油注がれメシアであることを証明されました。わかりますか？そして…ほら、彼らは心の中で、何か違う物を求めていたのでした。

73 ペンテコステ派はどうなりましたか？数年前、あなたはその宗派と呼ばれる混乱から出てきて、あなた自身をペンテコステにしています。なぜまた戻りたいかったのですか？穀は来なければなりませんでした。(穀物はまだここにいませんでした。)わかりますか？注目してください、それは彼らがやった方法です。それは彼らの心の中にありました。彼らはそれをしなければなりませんでした。

さて、ダタンは彼らがそれから素晴らしい宗教を作ることができるという考えを持っていました。ご存じのように、使徒ペテロでさえも変容山について同じ考えを持っていました。彼は言いました、「ここで三つの幕屋を建てましょう。一つはモーセのためであり、一つは律法のためであり、もう一つは預言者のためであり、もう一つは…」

そして、彼がまだ話している間に、声が降りてきました、「これは私の愛する子です。彼に聞け。」彼らが振り返ると、イエス様だけが見えました。そこに彼は立っていました。彼はみことばでした。あなたが聞く必要があるのはその言葉だけです。主はすべての時代におられたのです。みことばがその時代に言われたことを見て、神がそれに油注がれるのをしっかり見て、それに従ってください。それだけです。

74 彼らは約束の地へと火の柱を追ったのでした。途中まで行った者はそうでしたが、他の者たちは死にました。注目してください、彼らは御言葉が世と混ざり合うことを望みました…彼らは間違いを引き起こしました。そして、それが彼らに何をしたかに気づいてください。御言葉…彼らは油そそがれた御言葉を受け入れないので、それを逃しました。ほら、あなたは偽造品を持っていなければならないのです…偽造品を作るには、本物を最初に持っている必要があるのです。そしてそこに彼らはそれを持っていました、神は彼がそれを持っていなかったことを示しました。

75 みことばが彼らに立証されることによって、どれほど完璧に知られていたかを考えてください。モーセが預言したすべてのことは起こるのです。彼が彼らをこの約束の地に連れて行くと呼びかけたこと。モーセが預言したすべてのことが起こったのです、ちょうどそこで。一つの言葉も敗れる事はありませんでした。あなたが荒野を歩いていたことを知るというのは、どれ程特権でしょう。そしてそこで、そのあと…彼が彼らにメッセージを伝えた時、彼らは最初にそれを信じなければなりません。しかし、彼が彼らをそこから連れ出した後、神は言われました、「私は、あなたが荒野で出会った火の柱であることを彼らに証明します。」

それで彼は言われました、「彼らを山の周りに集めなさい」。そして彼はシナイ山の頂上に降りてきました。そして神は雷鳴を始めます。

そしてその人々は言いました「神に語らせないでくださいモーセに語らせてください。させないでください…」

神は言われました、「私はこれ以上このように彼らに話すことはありませんが、わたしは彼らをわたしの名前で語る預言者を立ち上げるでしょう。」分かりますか？ですから、それが神がいつもされていることであることが分かります。なぜ彼らは最初にそれを見ることが出来なかったのでしょうか？これらすべてを見て、約束の地に彼らを連れて行ったメッセージに対してつぶやいたのでした。それは彼らを正しく始め、約束の地へと連れて行ったものでした。しかし、彼らはまだ…それに対してつぶやきました。考えてみてください、彼らが毎日神とともに歩むことが出来たらどれほど完璧だったかを。荒野で生活する人生とはどんなものでしょうか！夜は…朝のマナを食べて、それは夜に落ちました。

76 彼らが「わたしたちの魂はこのパンによってなされている」と言われるまで、それは彼らにとって非常に一般的になったのでした。分かりますか？そして、それが私たちと一緒にいた方法です。私は国の中で自分自身の小さなミニストリーをしている小さなグループを思い浮かべます。癒しと物事だけを見るのではなく、それはいつもされています。癒し；神はいつもどこかに癒しの出口を持っておられました。主でさえ、一度プールに天使がいました。そして彼は…あらゆる種類のものです。荒野の真鍮の蛇。あなたはいつも癒しの象徴を持っていました。(それは私が話していることではありません。)癒しは人々の注目を集める一つのことです。誰でも癒しの礼拝に寄付してくれるでしょう。彼らは歌祭に寄付します。しかし、貧しい失われた魂に関しては、彼らはそれについて何もしようとはしないのです。ほら、今はそうじゃないですか？私たちはすべてを…貧しい失われた魂のために手に入れました。それとは何もしたくないのです彼らは彼が何か手を出すのを許すでしょう。「そうですね、彼は教会に属しています。と言いますそれは何も傷つけません。」とさえ

77 しかし、今、私たちはここにいます...(ここで私たちができる限り迅速に閉めたいのです。)それがどれほど完璧だったか考えてみてください。私たちがこの地上でここにいた日々を見下ろしています。主なる神がなさったことを見てください。我々皆が楽しんだ素晴らしいしるしと驚きと奇跡から始まりました。次に見て…そして、その背後からメッセージが来ます。

何が起きているかを見てください。一人で歩くのではなく、一緒に歩く人。天使の群れが天から来て、地球全体を揺さぶるのを見て、ただそこに立っていることになる。そして新聞はそれを書きます。何カ月も、何カ月も前に手が起こると予測されたときにです。そこで主はそこに立って言われました、「時が近づいている、戻って来なさい。改革と物事の時代に隠されていたすべての謎の七つの封印を解き、それを引き出しなさい。」とそれからサーパント(蛇)の種、そしてそのようなすべてのことが説教されます。そして、聖職者は何をしますか？言う代わりに…「なぜルターはこれを言ったのですか。」と彼らはただ…彼らはそれが分かることは決してないでしょう。分かりますか？しかし、信じる私たちにとってそれはどんな特権なのでしょう。毎日、神の臨在の中を歩くのです。

78 そこに立って、空から旋風が出てくるのを見てください。それは私たちがいた場所に立っていて、山を二つに割って吹き飛ばしました。木の上などを切り落とします。そして、多くの御言葉が出て、そこで3回震えました。「それが西海岸に行くのを見てください」。すぐそこに行ってアラスカを揺さぶった。そして今すぐ西海岸を下ります。まさにその通りです。

前の日、私は岩を取り、それを空中に投げ上げて言いました、「主がこう言われます。「その時間は今ここにある、裁きが地上で始まるであろう。地震そしてすべての事が起こります。そして西海岸全体は揺さぶられるでしょう。」どれほど完璧か見てください。日々、すべてがまさに彼の言われたとおりになっています。兄弟たち、どのようにそれを元に戻すことができますか？神への信仰を守りましょう。

彼らは「これは誰ですか？」と言います。私たちはそれが誰であるかを知っています。イエス・キリストは、昨日も今日も、そして永遠に、火の柱です。モーセが時間をとるとき、それがしたことを見てください。今日の火の柱を表していたのです。いつも…なぜ彼らはイエスがみことばであると信じなかったのですか？彼らは間違った解釈と理解を持っていました。エバと同じように、今もそうです。

79 それから、バラムと彼の教義は彼らにぴったりでした。そして、ちょうど彼らの好みを正に満たしました。その祭りで、見て…モアブ人の饗宴で、見てください…ああ、彼が言ったこと。ここでどれほど今日の絵が過去にどのように似てあらわされたものかを見てください。(私はあなた方に長く居てもらい過ぎています。)しかし、見てください、あと少しの間だけ、モアブ人たちの祭り。見てください、もし彼が一方に彼らをそこに連れ出すことができなかつたら、バラムはそうしました、そして彼は彼らを一緒に組織したのでした。もし彼が彼等を自分自身で呪うことができなかつたら…彼が呪うほど、神は祝福されました。そのままにして…

80 ほら、それがペンテコステ派にしたことです。彼らは数年前、あなた方全員が立ち上がった時、「あなたはどこにも行きません。と言っていました。あなたには何もありませんでした。あなた、あなたは燃え尽きるでしょう。あなたは単なる狂信者の集まりにすぎません。」しかし、彼らがあなたを呪おうとするたびに、あなたはちょうどその場所に再び戻ってきます。神は彼のメッセージを明らかにし続けました。元の集まりからさかのぼって、一般的な協議会にさかのぼります。そして、彼らが水の洗礼のために彼らがイエス・キリストの御名を受け取った時に連れて来られました。それから、一人はこのようにジャンプし、もう一人はもう一人、そして一人は去りました…；これやあれやを組織化したのでした。神は祝福を続けられました。

さて、まあ、彼はあなたを呪うことができないのを見ました。分かりますか？それで彼は何をするつもりなのですか？彼はあなたを組織するつもりです。あなたを連れて来て「ああ、とにかく私たちは皆一つなのです。」分かりますか？「私たちは皆、同じ神を信じています。」それがちょうどバラムがしたことです。そして、ユダはこれについて私たちに警告しませんでしたか？彼らはバラムの教義の中で誤りを犯し、コラの利益を得て死んだ。イエスの里弟であるユダは、聖書の中でこれについて警告していませんか？彼らはカインのようです、最初から、雇われ、教会に行つて教会を建て、祭壇を建てて捧げものをささげたもの。彼らはカインの道の中での誤りを持ってしまっています。彼らはバラムの道に走り、コラの利益主義の中で死んだ。ユダは、今朝のように、あなたの前に、私たちがしてきたように、すべてを前に並べてくれていました。すべてがそこにあるのです。

81 彼らはコラの利益主義の中で死んだ。それがどれほどひどいかを考えてみてください。あのコラがしたことをただ考えてみてください…ほら、彼は言いました。「さて、我々は皆その祭りに上がつていこう。私たちはすべて一つなのだから。」とモアブ人は神を信じていました。それはロトの娘の子ども達でした。分かりますか？「私たちは皆、一つの神を信じています。」基本的に、彼らは完全に正しかった。今日のバプテスト派や長老派の人々と同じくらい根本的なバラムを見てください。彼はそこに上つて来て、イスラエルがありました。それは宗派になっていなかったのです…彼らは国家でした。イスラエルは国ではありませんでした。それは当時の人々でした。彼らはしばらくすると、神の道に行きたくなかったのです。彼らは残りの他の国々と同じようになりたがったのです。それが彼らが失敗するときです。しかし、彼らが神と一緒にいたい限り、大丈夫なのです。

82 バラムが出てきて、彼は見下ろして言いました。「さて、何と！彼らの一人の聖職者が別の男の妻と結婚したことを知っています。」これらすべての他の物、確かに、彼らは十分持っていたのでした。彼はそのキャンプで王の叫びを聞くのを忘れていました。彼はあの打たれた石、そして真鍮の蛇が贖罪のためにそこにぶら下がっているのを見たことはありませんでした。彼は彼らがどの組織にもつながつていないことを知りませんでした。彼らは神の契約につながれていました、そしてそれとともに歩んでいました。分かりますか？そしてバラムは基本的に「私のために七つの祭壇を築きなさい」と言いました。それがエホバが求められていることで

す。それがエホバの両側にありました。「大丈夫、7頭の子牛を乗せて。」それが彼らがそのキャンプでやっていたことでした。「いつかメシアが来るので、私に七匹の雄羊を置いてください。」大丈夫。

83 ほら、基本的に、どちらも正しいのです。基本的には。分かりますか？しかし、ある日、彼はそれを理解することができなかつたのを見て、彼は「もし私たちが一緒に組織するなら」と言いました。そして、そこが彼らが間違いを犯した場所なのです。

そしてそれこそが、ペンテコステ派が間違いを犯した場所です。それが他の教会のように組織化した時の事です。私はあなたの敵ではありません。私はあなたの兄弟です。近いうちに、それが真実であることがわかるでしょう。まだ少し時間がかかるかもしれませんが、太陽が数回転しますが、いつか正しいことが分かるでしょう。

それから、バラムの教義が彼らを襲いました...それこそが彼らが望んでいたことです。「私たちは皆一つなのです。」分かりますか？それで、彼らは行きました。彼らの預言者のすべてと彼らは皆一緒に行きました。そしてその祭りで、同じことを言いました、「そして、私たちは皆、一人の神がいると信じています。信じましょう。」まさに彼らが探していたもの、まさにその通り。

84 さて、メソジスト派とバプティスト派は彼らの組織のためにほとんど集まることができませんが、マスター組織が来るとき、私たちは皆、一緒に集まることができます。大丈夫です。「ああ」あなたは言います、「ペンテコステ派はそれを決して受け取ることはないでしょう。」彼らはしませんか？彼らは先日ミズーリで何をしましたか？あなたは確かにあなたの文書を読みます。分かりますか？しませんか？いいえ、ペンテコステ派のことではありません。しかし、それはあなたではありません。あなたを動かしているのはその政府です。それがあなたを変える人格です。そうなのです。それと一緒に行きませんか？あなたはそのことから離れてください、それこそが獣のしるしなのです。あなたはそれをできるだけ早く解放されるでしょう。分かりますか？それはエクレシヤ(選ばれし者たち)なのです...それを動かしているのは政府の上の者達です。

85 私たちが行ったことは一度もありませんでしたし、ドイツや他のどの国とも戦争はありませんでした。これを持っていた...これらの大きな政治家の何人かがここに新しい銃を作り始めるためにセットアップしていたのです...私は自分の子供からの血のお金が欲しいのではありません、それはそこから出てそれに死ぬ必要があります。分かりますか？しかし、まさにそれです。それを行うのは政治なのです。そして全世界は悪魔に支配されていますそれがまさにイエス様の言われたことです。そして、イエスが来て引き継ぐ至福千年まで、それは決して正しくなることはありません。しかし、今、私たちはこれらの問題を抱えています。(今それを終わらせるように急ぎます。)

86 まさに求めていたもの...まさにそのもの。それがまさに彼らが望んでいたことだったのです。モアブ族の祭りでのサタン勝利。彼もまた来るのです彼はそれらをすべて同じ方法で得てきています。ちょっと待って...一気に!彼らが何をしたかを考えてください。それは同じだった。それを引き出すのに、3、4年物長さがかかる必要はありませんでした。彼らは...偽りの預言者、神のことばを踏みつけにしたもの...神が国中に送ったすべての警告を彼らに告げました。「それからだよ」と彼らに告げていたのです。それから出よ!そこから出るのだ!彼らはそうしないでしょ。彼等はそこに居続けるでしょう。

彼らは神のことばを無視し、みことばを無視し、しるしを無視し、私たちの中にあるものを無視するので。「とにかくそれを手に入れるつもりです。と言って続けて行くでしょう。すぐに終わります。私たちはそれを手に入れなければなりませんでした。それだけです。私たちは皆一つなのです。」悪魔の愚かさがわかりますか？それは彼らがローマのニカイアでニカイアの祭りでしたのと同じことです。彼らはそれから組織を作りました、それがそこで起こったことです。サタンはニカイアの祭りをしました。ああ、何と言う事!それ以来...聞いてください、ここで大きな大きな言葉を言います。そして、あなたはこれについて議論し、自分自身と歴史、そして聖書について議論したいのですが、私についてはありません。

87 聞いて!神がメッセンジャーを送り、メッセージを受け取り始めるたびに...そして、その教会、その人々のグループが宗派のお祭りとなる時に彼らがそれをするところなのです。それはあなた方の集まりがそれをした場所です。それはあなた方ワネスがそれをした場所です。それはあなたの残りの方々あなたの宗派のお祭りでそれをした場所なのです、神が最初から呪われたのと同じ事と同様にあなた自身を投げ戻します。それがまさに真実です。教会がリバイバルをしたことがあるときはいつでも...ルター時代、それから...何が起こりましたか？メソジスト派...すべての時代を経て...ツヴィングリ、フィンリー、フィニー、残りの全員、リバイバルがあったとき、彼らはそれをどうしていましたか？それを宗派の祭りに投げ入れ、残りの方々と一緒に這い、残りの方々のようにあなたにブランドを作りました。それからあなたはあなたを支配している人の集まり

を得ました。聖霊はこれ以上動かないのです。その通りなのです。あなたは聖書が教えるようなことを説教し始めました、そして宗派はそれを信じていません。即座にあなたを締め出そうとします。一度試して、それが正しいかどうかを確認してください。あなたはそれが真実であることがわかります。彼らが呼ばれる度に宗派の祭りで、バラムの祭りで問題が入っていくのが分かります。ああ、ルター、ウェスリー、ペンテコステ、そしてそれらのすべてはそれの犠牲者です。

88 それはその時で、ハレルヤでした。モーゼが出て行って言ったのです気が付いてください。「わたしと神はだれのためですか。」とアーメン！それはレビ人が彼の剣を引いてキャンプを通過し、それに関連するすべてのものを完全に殺したのです。アーメン！すべて；モアブ人の女性がいた男性は皆、彼らも一緒に殺したのです。今、その時が来ているのです。その人はどこにいますか？アロンの息子、神のみことばを引き出そうとする神権の一部、この鋭い両刃の剣はどこにあるのでしょうか？「だれが私と神を代表するのですか？」と言いました。彼はどこにいますか？招待できますが、誰も答えません。私の言っている意味が分かりますか？我々には、わかりません。私たちはただ…何かが間違っているのです。彼らはそこにいたことに気が付いてください。…その時、モーゼは立ち上がり、これらのことを言いました。

89 彼らがそこで罪を犯したことに気づいてください、彼らはモアブと彼ら自身を宗派化した時、彼らを一つにしたのですその罪は決して許されませんでした。ほんの1分でそちらに向かいます。(遅いですが、ほんの1分です。)彼らの罪は決して許されませんでした。彼らのうちの1人でさえも約束の地に到達できませんでした。イエスは言われた、すみません。ヨハネ6章でイエスは言われました。ヨハネ6章で、「私たちの父達は荒野でマナを食べた」と言ったとき…彼らはペンテコステ(五旬節)でした。兄弟、彼らはマナを食べました、彼らは本物を持っていました。

イエスは言われました、「彼らは皆死んでいます。彼らは滅びる。彼らは永遠に消え去りました。」と彼らの罪は決して許されませんでした。彼らは何をしましたか？彼らは神との契約を破り、神の警告を受けない雇いの預言者バラムとともに組織しました。神のみことばは受け入れず、神から何も受け取らなかったのです。しかし、彼はそれらすべてを一つにしようと決心していました。あなたはその愚かさが分かります？私はそれを長く続けてきましたが、あなたはそれを理解したと思います。分かりますか？注目してください、彼らの罪は決して許されませんでした。それらの祝福の下に住んでいて、そのマナとすべてのものを食べた内のだれ一人としてです。

90 本物の真のメッセージが対決に来たとき、彼らはそれを組織しました。「私たちはモアブ人と私たちと一緒に連れて行きます。彼らは素晴らしい組織であり、素晴らしい国です。私たちは決して…私たちは国すらありません。私たちはお互いに結婚するだけで大丈夫なのです。私たちは彼らと共にいるでしょう。」そしてそれは決して許されなかった。決して、それらは許されないのです。

イエス様は言われました、「彼らは皆、死んでいるのです。」その単語をヘブライ語またはギリシャ語で翻訳すると、「永遠の分離」を意味します。永遠に消えている。そうなのです。

ああ、そうです、彼らは奇跡を見ました。彼らはみことばに油が注がれるのを見ました。彼らは天から来たマナを食べました。彼らは贖罪の祝福を味わいました。彼らは、打たれた岩がその水を与えるのを見ました。彼らはそれから飲んだ。彼らはそれを個人的に知ったのです。しかし、その御言葉を壊すことになると…決して忘れないでください！イエス様が言われたとき、「わたしと父は一つです」そこに3つあるとは言われませんでした。え？聖書のこれらすべての他の素晴らしい基礎が…

91 ある人が先日の夜、私のところに来て、私がどこが間違っているかを見せたり、三位一体について話したりしました。何千人者良き三位一体信者の友人が居ます。彼らはそのバビロンにいます。私もそのバビロンで多くのワンネスの友達を得ました。分かりますか？しかし、何が起こりましたか？彼は言いました、「それは用語です、ブラナム兄弟。三位一体を信じますか？」

私は「確かに」と言いました。私は言いました、「あなたの言葉を引き受けます：専門用語」。「どのようにそれを信じますか？」と言いました。

彼は言いました、「私は一つの神を信じます。」

私は言います、「あなたはうまくやっています。」分かりますか？

彼は言いました、「私は神が一人、神格に三人いると信じています。」

「あなたはビオラクリスチャン大学の学生じゃないの？」と言いました。

彼は言いました「はい」

「そのように聞こえますね」と言いました。私は言いました、「それはあなたの教育にとってあまり良くないことです。」私は言いました、「三人、そして一人の神？」私は言いました、「ウェブスターによると、そこには人になる前に個性がなければなりません。あなたは三つの神(小さい)を信じていますね、ミスター。」個性を持たないで人になることはできません。人となるには個性が必要だからです。

だから彼らは言う…彼は言いました、「まあ、ブラナムさん、ご存知のように、神学者でさえそれを説明することはできません。」

私は言いました、「その通りです。みことばは神学者には伝わらないのです。」ええと。私は言いました、「聖書はすべて黙示録に結びついています。「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。」分かりますか？アーメン、そこにいます。分かりますか？しかし、それらのことになると…ああ、何と言う！

92 さて、できれば急いですぐに閉じたい。私はこれらの聖句とノートのいくつかを飛ばさなければなりません。さて、注意してください、彼らは彼らがしたことに関して決して許されませんでした。彼らは何をしましたか？彼らは祝福を味わいました。それを忘れないでください。もう一度繰り返します。彼らはそれを許されたことはありません。このテープは世界中に広まっています。分かりますか？世界中のアフリカ、インドのキャンプで再生されています。異なる言語に翻訳され；異なるキャンプ、異なる場所にです。その罪は決して許されませんでした。何がでしたか？彼らは…

あなたは言います、「まあ、神を祝福します、私はこれをしました。私はこれをやった。私は天国のマナを食べました。私は…」

ええ、彼らもそうしました。そしてイエスは言われました、「彼らは皆、死んでいるのです。」しかし、正確なメッセージに来るとき、彼らはそこでも、彼らはその契約を別の国と一緒にやぶってはいけません。神は人種差別主義者でした、そして彼はその人を分離しました、そして彼らは他の人と何の関係もないはずの人と結婚していました。そして、本物の真の教会とキリストの花嫁は、御ことばであるキリストに加わったのです。そして、あなたはどの組織、どの宗派とも結婚しません。あなたは個人として、キリストとのみことばに正確にとどまるのです。それをすることは神からの永遠の分離です。皆がそれを理解することを望みます。

93 さて、私たちのテキストでは、それは過ぎ越しの祭りの近くでした。そこを進めていました。それはひどい時代でした。人々は門の外で寝ていました。すべての過越祭はこれをしました。彼らは敷地外に寝ていたのです。宿舎は全て満員でした。それは過越の祭でした。そこには大きな期待がありました。空気はすべて満たされていました。(さて、あと5分で、私は出て行きます、御心ならば、あるいは10分。)皆さん満たされてきていますね。

ほら、そこには3つのクラスの人々がいます。ほら、大きな期待がありました。彼らは、この奇妙な男がこの祭りに来ることを知っていました。彼らの何人かは彼を愛していました。彼らは彼を信じていました。彼らの何人かは彼を憎みました。彼らのほとんどは彼を憎んでいました。そして、1人は彼を愛し、もう1人は彼を憎んだので、中間の者は何をすべきか知りませんでした。分かりますか？彼らは知りませんでした。気がついてください、空気は期待に満ちていました。ある人は言いました、「彼がそこに立ち上がったら、私たちは彼を呼ぶと言います…私たちは彼にみ言葉のテストを与えます。私達は彼を大祭司のそばに立たせます。私たちは彼の知恵がカヤバに対してどうなのかを見ます。」彼はすでにそれを証明していました。分かりますか？

94 「しかし、我々はこれを実行します。我々が分かるのは..偉大な指導者の何人かが彼を引き継ぐことを知っています。何てこと、彼らはその古い男をひっくり返します。彼らは私たちの司祭たちをだましに行くとき、彼が何であったかを彼に知らせます。何と、彼らは自分が何をしているか知っています。彼らは賢い人です。彼らは自分が何をしているか知っています。」

他の人は「彼らはとにかくその人をどうするのだろう」と言っていました。

他の人は言いました、「ああ、私は彼が来るのを待っています。神は彼と共におられます。彼はその言葉です。ああ、ただ彼に会いたいです。」分かりますか？ああ、彼らは分かれています。さて、彼を知っていて、彼を信じていた人々は、彼らがどの門で待つべきかを知っていたはずですよ。分かりますか？彼らは彼

がどちらの方法で来るかを知っていました。大きな期待がありますが、彼を見た人はそれほど多くありませんでした。ほら、彼を見なかった人がたくさんいました。今日もそうです。

95 彼らの内の何人かはこう言います、「彼はいい人です。ああ、彼には何の問題もありません。ナポレオンやワシントンのように、彼は良い人でした。しかし、ああ、教師として、いいえ、いいえ。」

彼等の内の何人かは言いました、「ああ、彼は良い人です。ああ、彼はただ混乱しているだけです。彼はいい人です。だれも彼について悪いことを言うことはできません。」

他の人たちは言います、「いいえ、彼は悪魔です。私はあなたが読むことやその他すべてのことを気にかけていることをあなたに言うことができます、そしてそれは偽の予言です。それは私たちの信条に反しています。そのようなことを信じてはいけません。」

そしてもう一人は言いました、「神への栄光、それは神です。私は彼を知っています。なるほど。」そして彼らは待っていました。さて、それは今日の私たちの立場ですが、同じことです。みことばがこの時代のために注がれるのです。ラオデキア教会時代。

96 さて、これで終わりです。(ちょっと待ってください。)3つのクラスが彼を待っていました。今日もそうです、そうです、3つ。注目してください、信者たちは叫んでいました。わかりますか？わかりますか？彼の働きある人々に彼を愛すようにさせ、他の人に憎まれ、別のクラスの人たちは不思議に思っていたのでした。わかりますか？彼の働き(御仕事)…もう一度引用させてください。彼のミニストリー、それが何であれ…今、私たちは知っています、それは御言葉でした。しかし、彼の働き(御仕事)はある人々に彼を愛させました。彼らはそれをするようにあらかじめ定められていました。ほら、彼らはそれを信じていました。彼らはそれを見たのです。もうありませんでした…ナタニエルがそこにやって来た時、主が彼にそのようにしたことを彼に言われた時、彼は言いました、「先生、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です、私の心の中に疑問はありません。」

シモンはそこに立って言いました、「ああ、アンドレ、私は行きません。以前にもいろいろ聞いたことがある。」

「しかし」アンドレは、「あなたは来るべきです。あなたは来るべきです、私と一度だけ来てください。」と

そして主がそこに着いていた時、イエス様は彼が上って来るのを見ました。そして言ったのです「あなたの名前はシモンです。あなたはヨナスの息子です。」もう疑いはなくなりました。ご覧のとおり、これですべてです。彼らはそこにいました。彼らはそれを信じたのでした。彼らはそれを見ました。彼らは、それが救い主が来られた時することだと知っていました。

97 彼は預言者でなければなりませんでしたが、なぜならモーセは「彼は預言者になるだろう」と言ったからです。そして、破滅させられた人々は、預言者なしで400年が経っていました。常にあらゆる時代において、それを正すために預言者が必要でした。そしてここで主はそこに立っておられました。

彼らには何の疑いもありませんでした。彼らはヤシの枝を手にして待っていました。「彼は間もなく来られる」待ってます！

その都全体が、緊張していました。彼らは言いました、「門に狂信者が集まっています。」

もう一人は言いました、「彼がここに来た時、彼は何をするのだろう。ご存知のとおり、私は彼が偽物だと本当に信じています。私は彼がウサギの足を持っていると信じています、彼は彼の耳をこすります、またはそのような何か、。」

そして、彼らが今日言うように、「ああ、それはある種の精神テレパシーです。それは何か…」彼らはそれをすべて説明することができます。

別の人は言いました、「それは悪魔です。あなたは街のこの側に滞在しています。あなたはそれとは何の関係もありませんか？その会議に協力しないでください。そこに行かないでくださいね我々はそれとは関係ありません。」3つのクラスの人々。

98 見てください。さて、彼はその都市にロバに乗って入ってきます。みことばで彼がそうすると言われたとおりに。小さなロバに乗って、その町に入ってきました。信条を見ていなかった、神殿を見ていなかった、これら

すべての他のものを見ていなかった、司祭を見ていなかった人々、彼らが言わなければならないこと。イエスを信じた人々は、ヤシの葉を握ってそこに立っていました。最初の動きを待っていたのです。「だれが来るのか」と言っているのを聞いたことはありません。ああ、ありません！彼らは誰が来るのか知っていました。彼らはみことばが言ったことを知っていました。分かりますか？そして、他のクラス、その町に彼らは戻って来ていましたか？そして、彼らが、「王へホサナ！と言う音を聞いた時。主の御名によって来る王へホサナ。ホサナ！ホサナ！」そして、すべての叫び声！

司祭達はこの宗教的騒動が何であったかを見るために走り出てきた。そして人々は「これは誰ですか？」と言いました。友の皆さん、彼らは何のためにそこにいたのですか？宗教的な祭り！彼らにこの祭りを任命されたその神は、彼がそのようにそこにいと彼らに告げました、そして彼らは叫びました、「それは誰ですか？」

99 時代は変わっていません。人々は当時と同じように造られます。ヘブル13:8では「彼は昨日も今日もいつまでも変わることが無い。」と言っています。さて、私は次のように言って締めくくります。もう彼らには疑問は無かった。彼らは尋ねました、「それは誰ですか？」しかし、1964年にその質問は次のとおりです。「それを誰だとあなたはいうのですか？」これは一体何なのでしょう？聖書を探すのをやめましたか？これは誰だと思えますか？メンタルテレパシーですか？「ヨハネは人であり、野生の水で人々をおぼれさせている。」と彼らは言っていました、それは荒野の何処かその上からで、そこで何かがあったのです。イザヤが彼がそこにいると言ったとき、前走者としての事でした。マラキは彼がちょうどそこにいるだろうと言いました。彼らの預言者達は言った、「この預言者はその前に立ち上がって、その前走をするでしょう。」そして、彼はここにいました。

彼らは言いました、「それは野生の男です。彼から離れてください。分かりますか？彼とは関係ありません。」そしてここにメシアが来て、まさに聖書が言ったとおりです。「彼は町に来られるくびきを負うろばの子に乗って」。柔和なくびきを負った、ロバの子馬が町に乗ってやって来ると、その聖句は成就したのです。」そして、ここで人々は再びバラムのように宗教的な祭りに立って、「これは誰ですか？」と言うのです。

そして今日、聖書はこの時代のための約束をしました、友よ、それは私たちの真つ只中に、時代から時代に連れて成就されています。それは誰だと思えますか？私たちが頭を下げたときにそれについて学んでいきましょう。

100 親愛なる神様、私たちはみな真剣に、これをしなければならないのだから、それについて深く考えています。主よ、それは私たちの手にあります。偉大なる王である、あなたが分かるのです。みことばの約束を理解しています。私たちはこれを何年にもわたって探し求めてきました。この素晴らしい時が来たのです、私たちが今生きているこの時代です。私たちはあなたの油そそがれた御言葉をあなたの人々の中に見、それによって生きるのです。まさにあなたが言われたとおりに起こっている事を見えています。サタンのグループにも上から油そそがれているのを見ます。そして、私たちはそれを国中(アメリカ国内)で、みことばを通して前後にパターン化しました。それで、一つの石が覆われずに残ることはありません。主よ、あなたが誰に生きるように決められたかは分かりません。それを知るのは私の仕事ではありません、それはあなたの仕事なのです。しかし、すべての石を動かすのは私の仕事です。神様、他の人たちがそれを信じる事になるように助けられるように私を助けてください。主よ、すべての石を動かしてください。あなたがあらかじめ定められたもの以外何もそれを聞くものではありません。

私達は、主よ、あなたが私たちの世代に戻られるのを見たいのです。私達はそれを信じています。受難日(聖金曜日)がもう1つあると信じています。聖金曜日と受難日。あなたの教会への十字架ですが、私たちの勝利はあなたが乗って来られた時にあります。

101 神よ、あなたの人々にあなたが今日祝福して下さるように、祈ります。この小さな教会を祝福してください。この親愛なる牧師と彼の息子を祝福してください、アウトロー兄弟と彼の息子。ジミーシニアとジュニアの両方をお願いします。ここにいてすべての人を祝福してください。

神よ、我々は今朝ただここに来たわけではありません。よろしいですか…私はツーソンからただ、運転してきたわけではありません。主よ、私が何人かの人々と話す特権を持っていたなら、人々がそれは誰なのかと不思議に思っているこの人だけを賛美するためにです。彼らは人間がこれを行うことができないことを知っています。彼らはこれらのことを知ることは人間を超えていることを知っています。しかし、人々は「それは何ですか？」と言います。

主よ、私たちはそれがあなたであることを知っています。それは聖霊の人のイエス・キリストです。彼は聖霊です。「私は神から来ました。私は神に行きます。」そして、私たちの間に大きな火の柱が見えます、主よ。モーセとともに聖書の最初の部分にあったものと同じです。パウロがダマスカスに行く途中、聖書の真ん中にそれを見たのです。それが分かります。さてここで再び終わりの時にそれを見るのです。3つは確認です。それはメッセージがあるとき毎回なのです。

神よ、男性と女性がもはや伝統と信条にしがみつくとすることが無いように。しかし、彼らがそのことから出て来て、彼らの命を完全に神にささげ、信じるように。人の理論とことだけを信頼するのではなく、生ける神を信頼しなさい。これらの休日が続いている間、その叫びは続いています：「これは誰ですか？それは何なのですか？それは一体何なのでしょう？」宗教家も同じことを言っています。そしてそれは同じ主イエスであり、彼の民の内に肉を作り、彼の花嫁のために彼の言葉を油注ぎました。そして彼らはそれを理解できません。彼らはすべてが何であるかを知らないまで、ラオデキアですべてが非常に犠牲になります。しかし預言者は言いました、「夕暮れには光があるでしょう。」だから今、私たちはそれを探しているのです、主よ。主よ、一人一人を祝福してください。

102 頭を下げて、心を込めて祈りましょう。あなたはこれが真理であると信じていますか？信じますか？ただ手を挙げて、「私は実際にそれが真理であると信じています。私たちは終わりの日に生きていますと信じています。私たちは今ここにいます、そして私たちはとても曲げられてしまっていると信じています…」と言いなさい。あなたは先日の集会にいました、小麦、莖…お気づきのように、これをフォローする組織は持っていません。私はあなたの牧師と一緒に、毎年何回もここにきていました。通常、それは2年か3年たって、組織されています。今回は、組織していません。そんなことは出来ないのです。穀はそれから離れましたが、それ以上の進歩はありません。小麦はミニストリーが当初の状態に戻しました。それは、友よ、私たちの間では、イエス・キリストです。人ではなく、あなたの中に住んでいて、あなたの一部になりたい、そしてあなたが彼の一部になることを望んでおられる方、キリスト・イエス。今日彼を受け入れませんか？

103 まだ、聖霊のバプテスマを受けていない人はいますか？さて、あなたは言います、「ブラナム兄弟、私は一度叫んだのです。と言いましたよね」それはとても良いことです「私は一度異言で話しました。」それもとても良いことです。しかし、それは私が話していることではありません。どのようにして、異言で語り、叫んでいながら、みことばを否定することができますか？聖霊の証拠は御言葉を信じている事なのです。みことばを受け取ることができるなら、常にすべての時代でそうなのでした。それらの聖職者たちは、御霊の実に関して、イエスに百万マイルを打ち負かされました：優しく、平和的で、柔和で、謙虚。彼は教会を引き裂き、教会を蹴散らしました。そして人々を引き裂いて、彼らを「草の中のヘビ」とすべてを呼んだのでした。分かりますか？しかし、彼はそのみことばでした。彼はそのみことばでした。それだけです。神を信じてください。神はみことばです。信じて。

104 まだ、クリスチャンのバプテスマを受けたことがない場合は、ここにプールがあります。あなたはまだ本当の聖霊を受けたことがないなら、それこそが神のことばはすべて真理であることを知らせることができるのです。あなたは「アーメン」と言い、心から信じるなら、今朝それを受け取ることができます。そして、あなたはこれが誰であるかを不思議に思わなくなるでしょう。あなたはそれが何であるかを知るでしょう。もしその経験がなければ、「ブラナム兄弟、私をあなたの祈りの中で覚えてください、そして私が手を挙げます」と言ってくださいませんか？そしてあなたは「そして私は…」と言います神の祝福がありますように。神の祝福があなたにありますように。神の祝福がありますように、それでいいのです。神の祝福がありますように、いいですね。

105 神よ、音楽が優しく奏でる…ああ、主は素晴らしい方です！間違いなく。「霊妙なる議士、大能の神、としえの父、平和の君」主よ、あなたがこれらの人々に与えて下さるように祈ります。私は祈ることしかできません。彼等に尋ねる事が出来る事で私が知っているのはそれだけです。彼らは手を挙げた。私は彼らに約束したように、あなたが彼らにこの素晴らしい経験を与えることを祈っています。単にある種の感情だけでなく、実際の経験。モーセのような神との出会いはシェキナの栄光の中で行われました。そこだけでなく、そのみことばから離れることなく、約束の地に向かってその道を歩んでください。神よ、今朝、それを一人一人に与えてください。

神様、今日、私たちの間に病気の人たちがいます。あなたがそれを癒して下さるように祈ります。すべての病人、すべての必要を抱えた人々を癒してください。与えてください、主よ。彼らは今あなたのものです。私は彼らをイエスの御名であなたに差し出します。アーメン。

106 申し訳ありませんが、ここで私は2時間話してきましたね。しかし、分かりますね。一晩中ありますよね。あなたは家に帰って回復するために、少し昼寝をすることができます。しかし、私がおあなたに言ったことを忘

れないでください。私は心からあなた方に話してきました。それが奇妙に聞こえることは分かっています。数年前、私はあなた方と一緒にフェニックスに来て、信仰の祈りによって病気を癒しました。私はそれを説明したことがなく、説明したくありませんでした。私は見ているだけで人々が何をするかを見て、なりすましや物事が起きるのを見てきました。それを見るのは大きな事でした。

しかし、今、あなた方のところに、そのしるしを立証するメッセージをもって来ています。教会は何をしましたか？いいえ、それは決して宗派にされないのです。しかし、このリバイバルをめぐる宗派はどうなったのでしょうか？彼らは何をしましたか？彼らは直接ラオデキアに行きました。何百万、何千万、何十億ドルが注がれ、彼女は大きくて豊かになり、数百万ドル相当の建物やそう言ったものを建てているのですそして、そのメッセージを受け取るには？そのようなものは要りません。彼らはそれに背きます。それは何ですか？小麦から離れた殻。さて、小麦はそうにならなければなりません。御子の臨在の中に横たわり、主人のために完全な福音の黄金の穀物の方向性に居なければならぬのです。信じられませんか？とにかくこれは誰でしょうか？それは誰ですか？それは人であり得るだろうか？ある教会であり得るでしょうか？それは宗派であり得るでしょうか？それはイエス・キリストです、昨日も今日もいつまでも変わることが無い方なのです。彼を信じますか？

107 そのようなメッセージを出した後で少し賛美をただしたいのですが、如何でしょうか...姉妹、コードを頂けますか、ここで小さな合唱団と一緒に、私は彼を愛しています [I LOVE HIM] を歌いましょう。その古い歌をご存知ですか？

私は彼を愛しています、私は彼を愛しています  
彼が最初に私を愛して下さったから、  
私の救いを買われたのです  
寒くて暗いカルバリーで。

私と一緒に歌っていただけますか？みなさん、今、ただの賛美礼拝に入りましょう。ただ私と一緒に賛美してください。

私は彼を愛しています、...

さて、テレビのように、彼はあなたの部屋におられることを覚えてくださいね。  
彼が最初に愛して下さったから  
そして私の救いを買って下さったのです  
カルバリーで。

それが何を意味するかがわかりますか？わかりますか？彼は何をしたかについての深みが理解できますか？

私は彼を愛しています、...

私は彼を見てはいませんが、主はここにおられます。私はここに小さなセットを手に入れました、私の心の中で小さなものが光っています。私はそれが彼を反映していることを知っています。彼はここにおられます。

...私を愛していた  
そして私の救いを買って下さったのです  
カルバリーで。

108 さて、ハミングしながら、これをして欲しいのです。さて、我々が今まで何であったかについては混乱しています。覚えていてくださいね、私の背景はカトリックでした。わかりますか？さて、私たちはここですべてのグループが混合していますが、今ではそれらすべてから抜け出したのです。私たちはキリストに属しています。私たちは彼の者なのです。さて、これを歌いながら、振り向いて握手をしましょう。立ち上がる必要はないです。「神の祝福がありますように、兄弟神はあなたを祝福します、姉妹。」私たちがそれをしている間、ただ真なるのクリスチャンの雰囲気の中でそう言いましょう。私は神は崇拝されることを好まれると信じています。そう思いませんか？彼を賛美礼拝しなさい。彼は...神は崇拝される対象なのです。そして私達は主を賛美礼拝したいと思います。そして、どのように...？あなた方はお互いを愛しています。あなたはお互いに良くしたいのです...「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」

さあ、今それを歌って、お互いに握手をして賛美礼拝しましょう。  
なぜなら、彼は...

神の祝福がありますように。

ああ、私は彼を愛しています、私は彼を愛しています  
はじめに彼が私を愛して下さったから  
そして私の救いを買って下さったのです  
…で

それはあなたの心を燃やしているかなと思っているのですが？そこに何か本当に良い気分になるものはありますか？ご存知のように、あなたはそれをここから取り出して抱きしめたいと思うかもしれません。え？心の中でそう感じますか？あなたがそう感じないならば、友よ、気を付けてください。あなたは危険な場所にあります、そこに本当の愛がなければ、「私は彼を愛しています。」何かがわかるのです。歌だけでなく、実際に。彼は初めに私を愛してくださいました。私は今日何処にいたでしょうか…私は今、55歳です。私の人生は間もなく終わります。分かりますか？そして私が…主が私の救いを買って下さった…トロー兄弟、あなたは何をしましたか？[ある兄弟が会衆から話します]

109 あなたはその証言「救われた」というのを聞きました。

彼の聖なる神の力によって救われ、  
崇高な新しい高みに救われた！  
人生は今優しく私の喜びは完全です、  
救われたからです！

どのようにしてそれが分かるのですか？私の霊は、私が死から生に渡された彼の言葉とともに記録をされているのです。

親愛なるクリスチャン、感謝します。それは私に良くしてくださいました。私はあなたがこのように自由でいられる場所に来るのが好きです。そこから離れるのは難しいです。私はただ考え続け、その時計を見ている。そして、私は娘がそこに座っていて、私のために彼女の頭を振って、そのように見下ろしているのが見えます。息子はここに立ち寄り、「ここで何をしているの？」と言いました。わかりません。私は周りを設定したいだけです。わかりません。私は交わりが好きです。だから、私はあまり多くの場所でそれが持っていません(あなたはそれを知っています)、いつもどんどん減っています。しかし、私はそこに近づいていることを知っています。分かりますか？そしていつの日か、最後の説教をし、最後に聖書を閉じる事になります。そして小さな旅に出る事になるでしょう。そうするときいつか遊びに来てください。上がって来て下さい、私たちは永遠に降りて、カール兄弟が言ったように話し、永遠に生きるのです。

110 さて、友達よ、私があなたにしてほしいことを尋ねるつもりです。今、私はあなたをあなたが夕食に出て行かないようにしました。分かりますか？そして今、アウトロー兄弟は少し前に何かをしました…彼は私が嫌いなことはほとんどしません。しかし、一彼は私のために献金を集めました。そのうちの一人が戻ってきたら、その献金をそこに持っていき、戸口に立つのでしょうか。そして、あなたはそれを取りに行き、それであなたの夕食を買います。それは私からのプレゼントです。分かりますか？そうしてください。分かりますか？それで大丈夫です。彼は優しい方です。彼はいつも…彼は決して…私は主が私を助けたい何か以外に何もしないし何処にも行きません。それが彼のやり方です。

111 ここに立っている人達があります。私は彼らの名前を呼ぶのを恐れています、彼らの感情を傷つけるかもしれません。栄光に行ったばかりの大切な兄弟がいます、すぐに行きました。彼の望み…彼は私が森が好きであることを知っていたので、彼は私にジープを買いたかったのです。私は彼にそれをさせないでしょう。それから彼が行った後、彼の小さな妻はそれをしたかったのです、また、私は彼女にそれをさせませんでした。しかし、残りの少年たちは集まってここに来ました…そしてこの教会に別の兄弟がやって来て言いました、「ブラナム兄弟、私は砂のワゴンを作っています。」とバギー。またはあなたがハックと呼ぶもの。そして、「その一つをあなたのために作ります」と言いました。私は彼にさせませんでした。あなたはこれらの男子たちが何をしたか知っていますか？彼らはジープと砂のハックを一緒に作りました。私はそのようなものを見たことがありませんでした。

112 その夜のツーソンでの集会から、彼らはそれを私の庭に運転していき、「これはフェニックスの人々からのプレゼントです。」と言いました。ほら、自分たちだけを含めるのではなく、「ああ、私たち全員が一緒にやりましたね」と言いました。それは…ああ、私は天国に行くことができるかどうかだけ知っています。そのような人々と一緒に暮らすことになるのです。それは私にとってとても意味のあることです。これらの小さな…何か。

それは私にここに居るアウトロー兄弟にそのように感じさせるのです。「まあ、ブランナム兄弟、私はただ…」ここまで行って、ただ何処かに行ってあなたがただあなたを愛し、あなたと話し、そしてイエスについて話す場所を得てください。そして…の人々さて、あなたは「羽の鳥」を知っていますね。ご存知のように、彼らは一緒に集まり、物事について話し合い、ともに親睦を深めたいと思っています。

113 そして、私はそれを感謝します、しかし私はその献金は望んでいませんでした、兄弟、姉妹。私は…私の教会は私に週に100ドルの小さな給料をくれます、そして私はそれで大丈夫なんです。だから感謝しています。さて、もしあなたの誰かがあなたの夕食を取りたいと思っているなら、まあ、誰かがドアのところに戻ってきてください、あなたの夕食は私が払います。ほら、大丈夫です。あなた方の何人かを私が夕食に行かせないようにしていました。主を愛していますか？それなら、私は彼の一部分なので、あなたは私を愛さなければなりません。分かりますか？アーメン。それが私があなたを愛している理由です。主はあなたを祝福します。

114 今、立ち上がりましょう。次回の集会もお忘れなく。周りにいるときはいつも覚えておいて来てください。いつでも大歓迎です。私のために祈ってくださいますか？私は祈りを必要とする人間なのです。祈ってくれますか？何人の人達とその重荷、私がしなければならぬこと、そして私の前にある事柄を理解することができますか？そして、私は何が上から何が来るかを知っています。分かりますか？他のものが来るのと同じようにそれを見ることができます。私は何が来るかを知っているのです。分かりますか？しかし、それについて話す時間はありません。今何が起こっているのか話しましょう。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。分かりますか？あなたは…私のために祈って下さいますか？さて、あなたは私のために祈るとあなたの手を上げましたか？良かった。

神は今あなたを祝福します。私はあなたの素敵な牧師、ジミー・アウトロー兄弟に礼拝を戻します。神があなたを祝福しますように、ジム兄弟。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7